

玉名市学校規模配置適正化  
基本計画策定に伴う市民アンケート調査  
調査結果報告書

令和3年2月  
玉名市教育委員会



# 目次

第1章 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査対象	1
3 調査内容	1
4 調査方法	2
5 調査期間	2
6 回収結果	2
7 注意事項	2
第2章 調査結果	3
2-1 回答者について	3
2-2 小学校の規模について	6
2-3 通学方法と通学距離について	24
2-4 学校の適正配置の決め方について	33
2-5 中学校校区をまたぐ小学校再編について	39
第3章 考察	51
3-1 玉名市立小・中学校の現状	51
3-2 学校規模について	54
3-3 通学距離、バスの利用について	57
3-4 学校再編の順序について	59
3-5 小学校再編に伴う中学校の通学区域見直しの必要性について	61
第4章 調査票	63



# 第1章 調査概要

## 1 調査目的

地域の拠点としての学校という視点から、学校の適正配置を調査・審議するうえで必要な事項について市民の意識を把握することを目的に、本調査を実施した。

## 2 調査対象

### (1) 調査対象

20歳以上の玉名市在住の市民

### (2) 対象人数

1,500名

小学校区	男性(750名)				女性(750名)			
	20代	30代	40代	50代以上	20代	30代	40代	50代以上
玉名町	10名	20名	10名	10名	10名	20名	10名	10名
築山	10名	20名	10名	10名	10名	20名	10名	10名
滑石	10名	20名	10名	10名	10名	20名	10名	10名
八嘉	10名	20名	10名	10名	10名	20名	10名	10名
伊倉	10名	20名	10名	10名	10名	20名	10名	10名
玉陵	10名	20名	10名	10名	10名	20名	10名	10名
大浜	10名	20名	10名	10名	10名	20名	10名	10名
豊水	10名	20名	10名	10名	10名	20名	10名	10名
横島	10名	20名	10名	10名	10名	20名	10名	10名
大野	10名	20名	10名	10名	10名	20名	10名	10名
睦合	10名	20名	10名	10名	10名	20名	10名	10名
鍋	10名	20名	10名	10名	10名	20名	10名	10名
高道	10名	20名	10名	10名	10名	20名	10名	10名
玉水	10名	20名	10名	10名	10名	20名	10名	10名
小天	10名	20名	10名	10名	10名	20名	10名	10名

### (3) 抽出方法

住民基本台帳からの無作為抽出

## 3 調査内容

- 回答者について
- 小学校の規模について
- 通学方法と通学距離について
- 学校の適正配置の決め方について
- 中学校校区をまたぐ小学校再編について

## 4 調査方法

郵送によるアンケート調査

## 5 調査期間

令和2年10月6日～10月30日

## 6 回収結果

発送件数	回収件数	有効回答件数	有効回答率
1,500 件	862 件	855 件	57.0%

## 7 注意事項

- (1) 図表中の「N」(Number of cases の略) は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比 (%) を算出するための基数となる。
- (2) 図表中の構成比は、小数点第2位以下を四捨五入している。
- (3) 集計表の上段の数字は回答数、下段の数字は構成比 (%) を示している。
- (4) 回答が2つ以上ありうる場合(複数回答)は、合計が100%を超えることがある。
- (5) 回答数が10件未満の区分については、統計上の有意性に鑑みて原則としてコメントを省略している。各数値は参考程度とされたい。

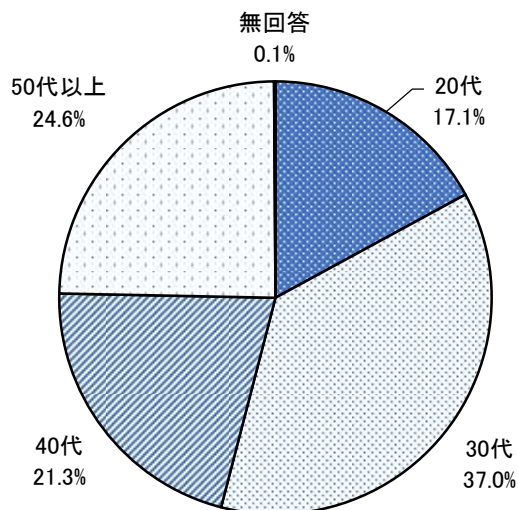
## 第2章 調査結果

### 2-1 回答者について

問1 あなたの年齢をお答えください。【1つに○】

「30代」が37.0%と最も高く、次いで「50代以上」が24.6%、「40代」が21.3%となっている。

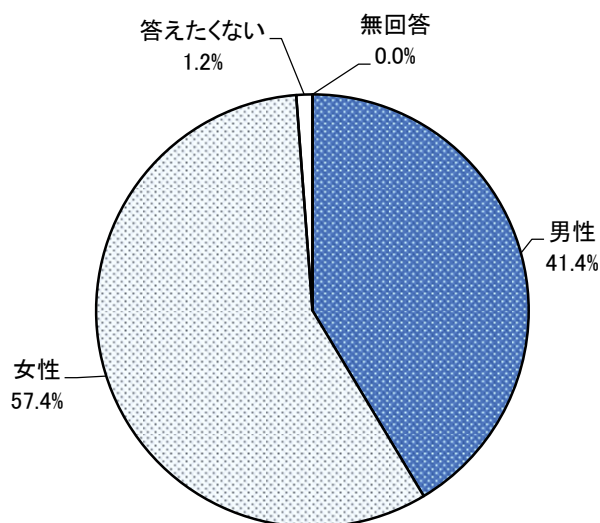
(N = 855)



問2 あなたの性別をお答えください。【1つに○】

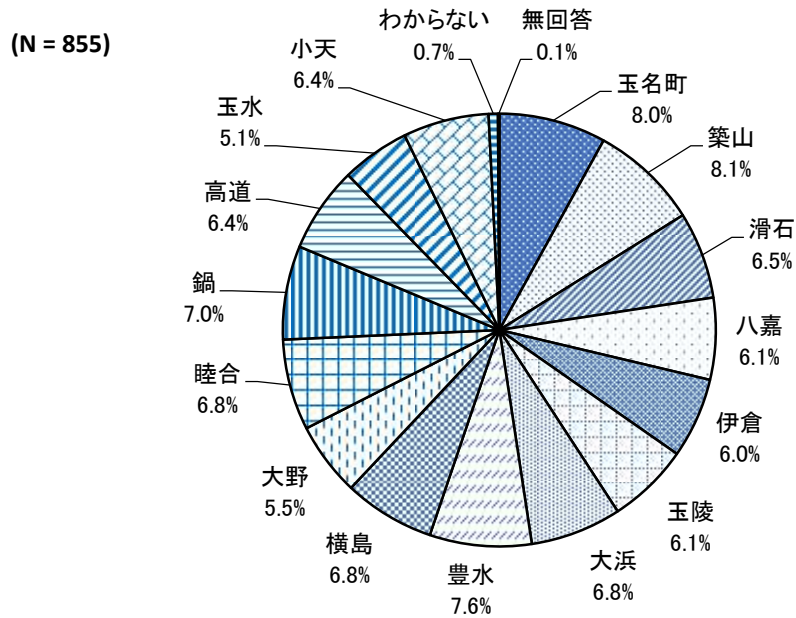
「男性」が41.4%、「女性」が57.4%、「答えたくない」が1.2%となっている。

(N = 855)



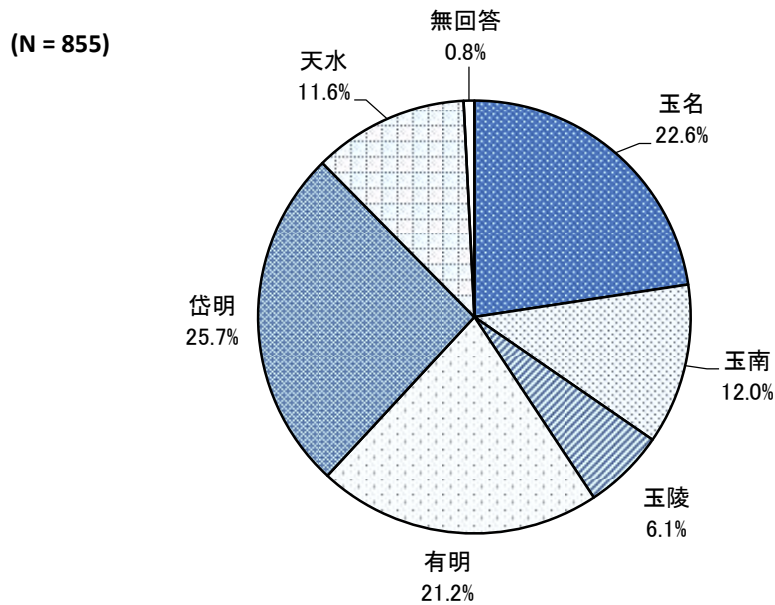
問3 お住まいの小学校区をお答えください。【1つに○】

「築山」が8.1%と最も高く、次いで「玉名町」が8.0%、「豊水」が7.6%となっている。



【中学校区】

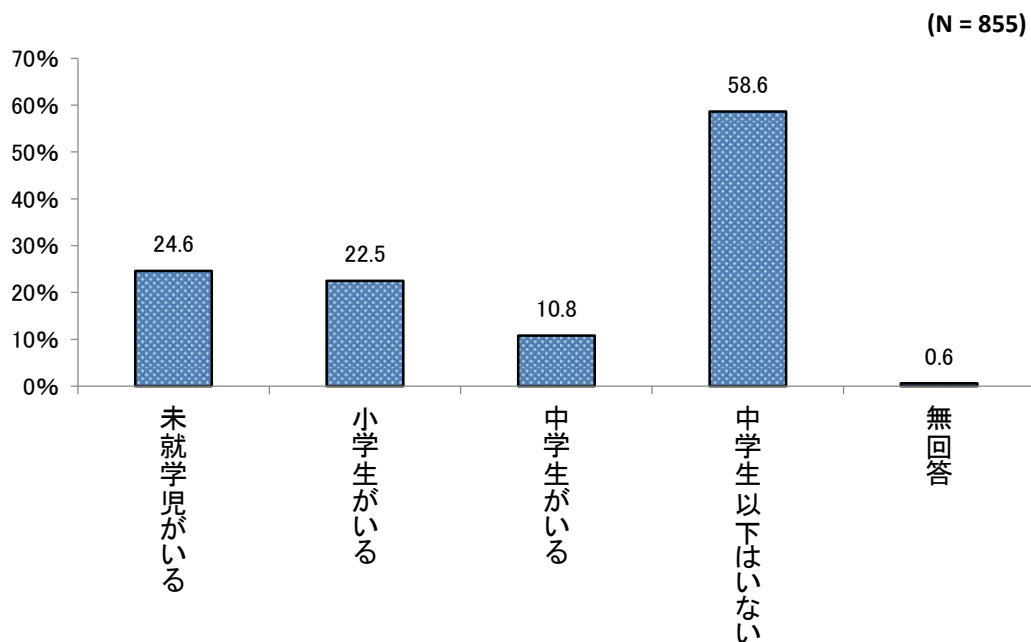
「岱明」が25.7%と最も高く、次いで「玉名」が22.6%、「有明」が21.2%となっている。





問4 同居するご家族についてお答えください。【あてはまるものすべてに○】

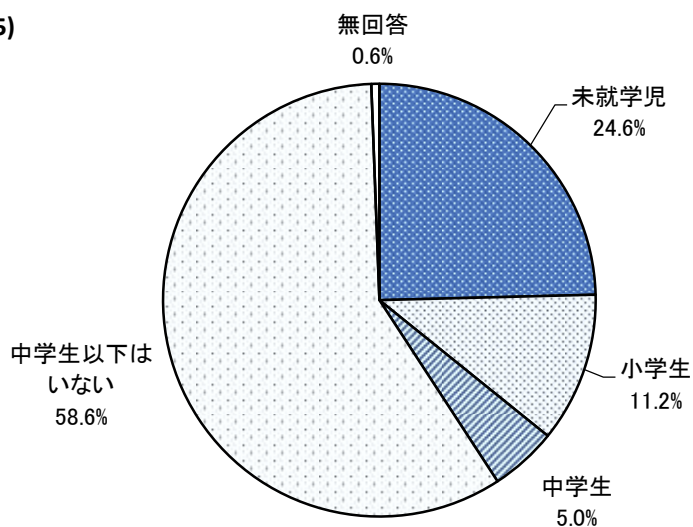
「中学生以下はいない」が58.6%と最も高く、次いで「未就学児がいる」が24.6%、「小学生がいる」が22.5%となっている。



【最も若い方】

「中学生以下はいない」が58.6%と最も高く、次いで「未就学児」が24.6%、「小学生」が11.2%となっている。

(N = 855)

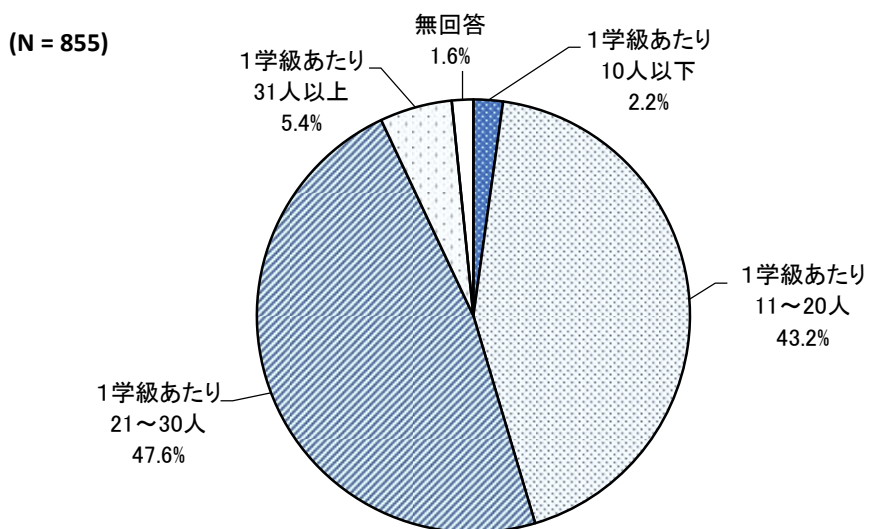


## 2-2 小学校の規模について

### ①学級人数について

問5 小学校の児童数は、1学級に最低何人が必要だと思われますか。【1つに○】

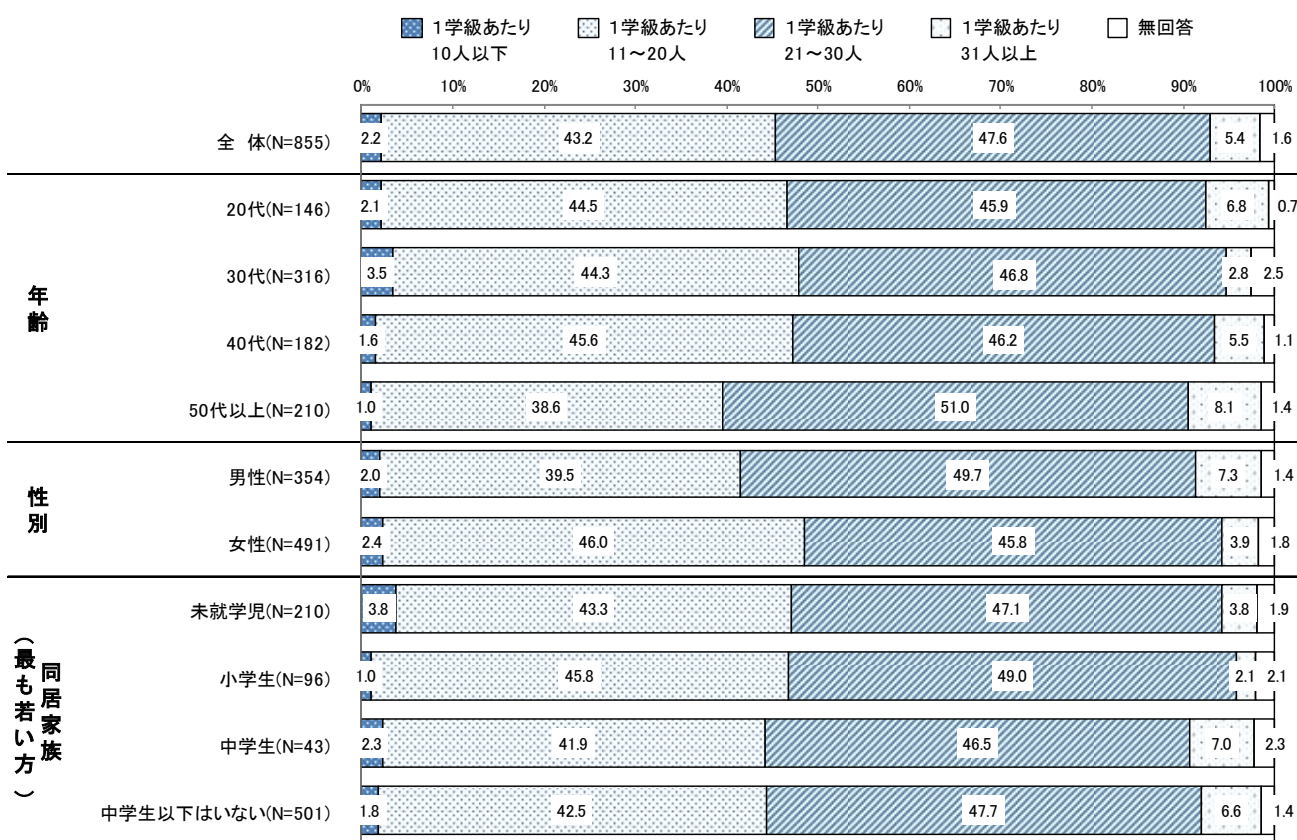
「1学級あたり 21～30人」が47.6%と最も高く、次いで「1学級あたり 11～20人」が43.2%、「1学級あたり 31人以上」が5.4%となっている。



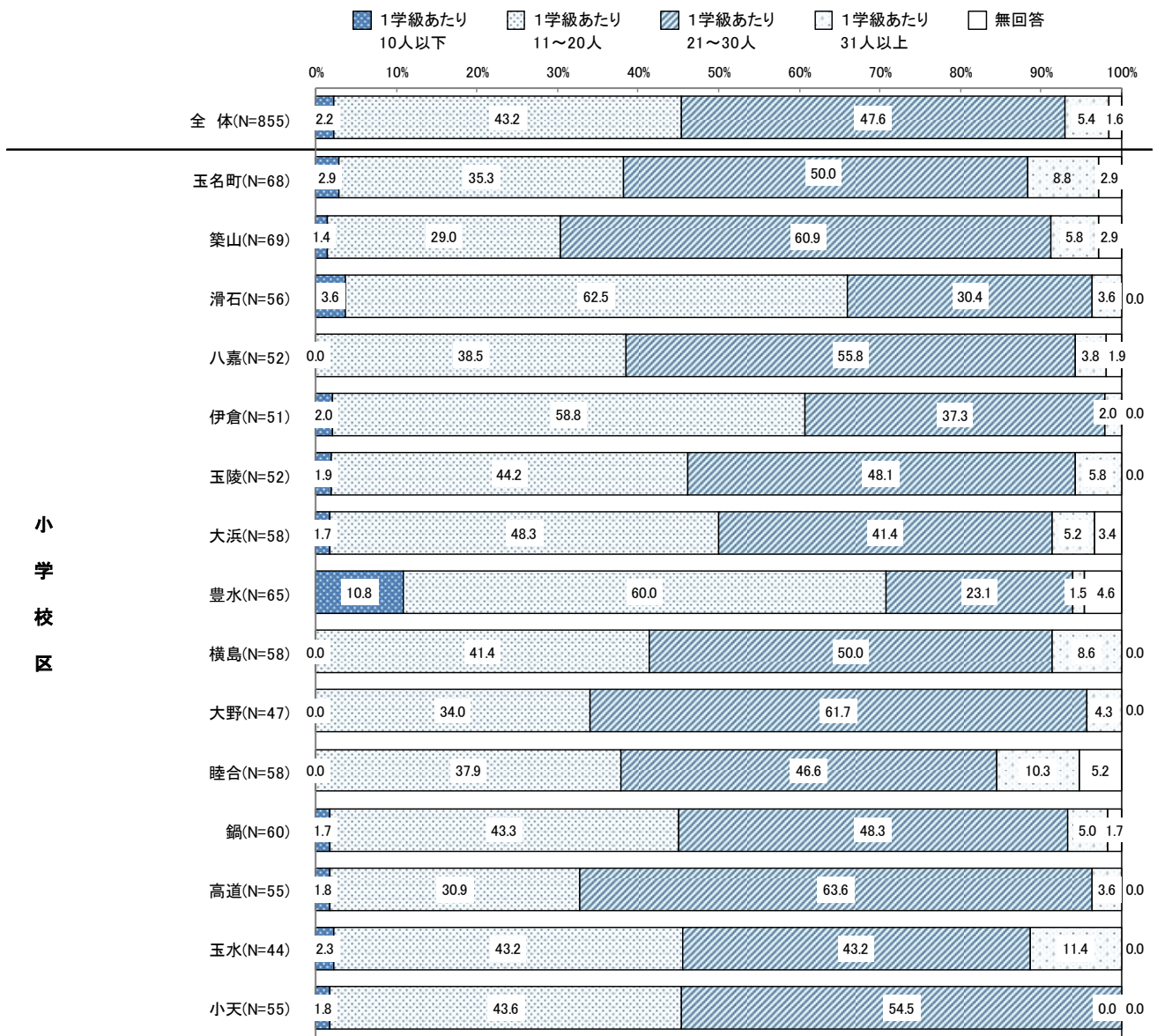
年齢別では、すべての年齢層で「1学級あたり 21～30人」が最も高く、次いで「1学級あたり 11～20人」となっているが、20代、30代、40代では「1学級あたり 21～30人」及び「1学級あたり 11～20人」がともに概ね4割半ばでほぼ同程度となっている。一方、50代以上では「1学級あたり 21～30人」が約半数、「1学級あたり 11～20人」が4割弱と、他の年齢層に比べて「1学級あたり 21～30人」がやや高い。

性別では、男性は「1学級あたり 21～30人」が最も高く、約半数を占めている。一方、女性は「1学級あたり 11～20人」が最も高く、次いで「1学級あたり 21～30人」となっているが、ともに4割半ばでほぼ同程度となっている。

最も若い同居家族別では、すべての区分で「1学級あたり 21～30人」が最も高く、次いで「1学級あたり 11～20人」となっている。

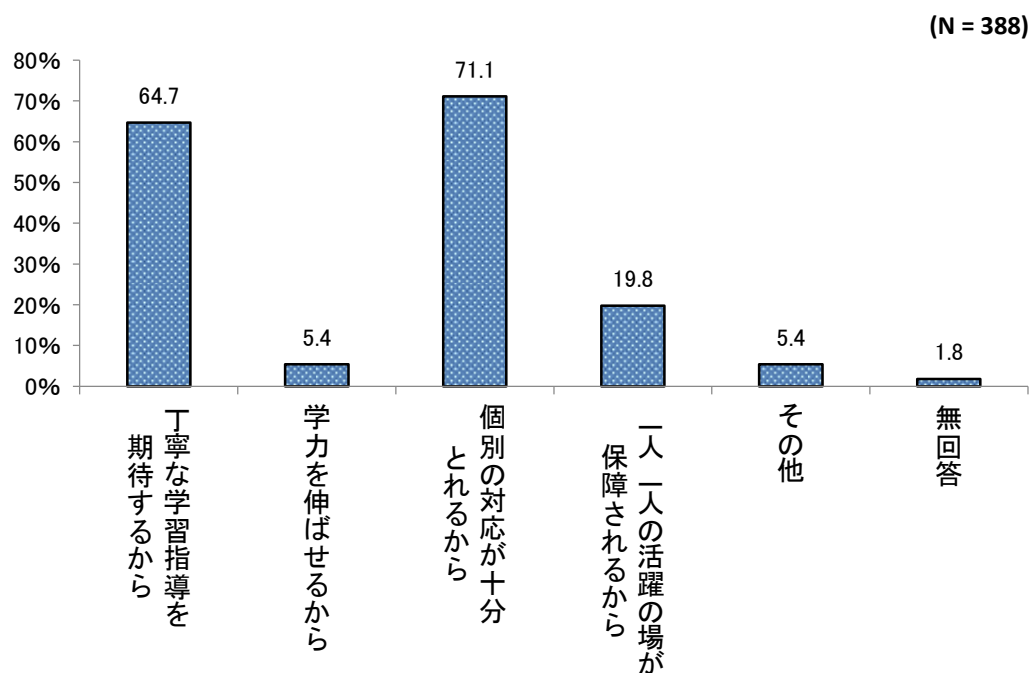


小学校区別では、滑石、伊倉、大浜、豊水で「1学級あたり 11～20人」が最も高く、玉水では「1学級あたり 21～30人」及び「1学級あたり 11～20人」が同率で最も高い。それ以外の小学校区では「1学級あたり 21～30人」が最も高くなっている。



問6 問5で1または2を選んだ方におたずねします。問5でお答えになった理由はなんですか。あてはまるものをお選びください。【〇は2つまで】

「個別の対応が十分とれるから」が71.1%と最も高く、次いで「丁寧な学習指導を期待するから」が64.7%、「一人一人の活躍の場が保障されるから」が19.8%となっている。



#### <その他の主な意見>

##### 人数が多いと色々な経験ができる (安心) 意見数 10 件

- ・最低 11 人以上いれば、集団の中で色々経験できると考えたから。
- ・10 人以上だと友人もいるため安心。
- ・コミュニケーション・チームワークを身に付けさせたいから。
- ・集団行動で大切なことを学ぶことができると思うため。

##### 教師の負担軽減 意見数 6 件

- ・先生も対応でき、同級生同士競争しながら伸びると感じたため。
- ・先生の負担の軽減。

##### その他 意見数 5 件

- ・子供いないので経験ないから分かりかねる。
- ・特に人数にこだわりはない。

年齢別では、20代、50代以上で「個別の対応が十分とれるから」が7割を超えて最も高く、30代では「個別の対応が十分とれるから」及び「丁寧な学習指導を期待するから」がともに約7割を占め、同率で最も高い。40代では、「丁寧な学習指導を期待するから」が約7割と最も高いが、「個別の対応が十分とれるから」についても7割弱と高くなっている。

性別では、男女とも「個別の対応が十分とれるから」が最も高く、7割を超えている。

最も若い同居家族別では、未就学児、中学生以下はないで「個別の対応が十分とれるから」が最も高く、7割を超えている。また、小学生、中学生では、「丁寧な学習指導を期待するから」が最も高く、7割超となっている。

(上段:件数、下段:%)

		回答数	丁寧な学習指導を期待するから	学力を伸ばせるから	個別の対応から	一人一人の活躍の場が保障されるから	その他	無回答
全体		388	251 64.7	21 5.4	276 71.1	77 19.8	21 5.4	7 1.8
年齢	20代	68	38 55.9	2 2.9	52 76.5	21 30.9	3 4.4	1 1.5
	30代	151	106 70.2	8 5.3	106 70.2	26 17.2	10 6.6	1 0.7
	40代	86	60 69.8	6 7.0	59 68.6	19 22.1	6 7.0	1 1.2
	50代以上	83	47 56.6	5 6.0	59 71.1	11 13.3	2 2.4	4 4.8
性別	男性	147	98 66.7	11 7.5	106 72.1	23 15.6	8 5.4	1 0.7
	女性	238	150 63.0	10 4.2	168 70.6	54 22.7	12 5.0	6 2.5
(最も若い同居家族)	未就学児	99	68 68.7	4 4.0	73 73.7	19 19.2	8 8.1	1 1.0
	小学生	45	33 73.3	1 2.2	30 66.7	13 28.9	1 2.2	0 0.0
	中学生	19	14 73.7	1 5.3	11 57.9	2 10.5	2 10.5	1 5.3
	中学生以下はない	222	134 60.4	14 6.3	159 71.6	43 19.4	10 4.5	5 2.3

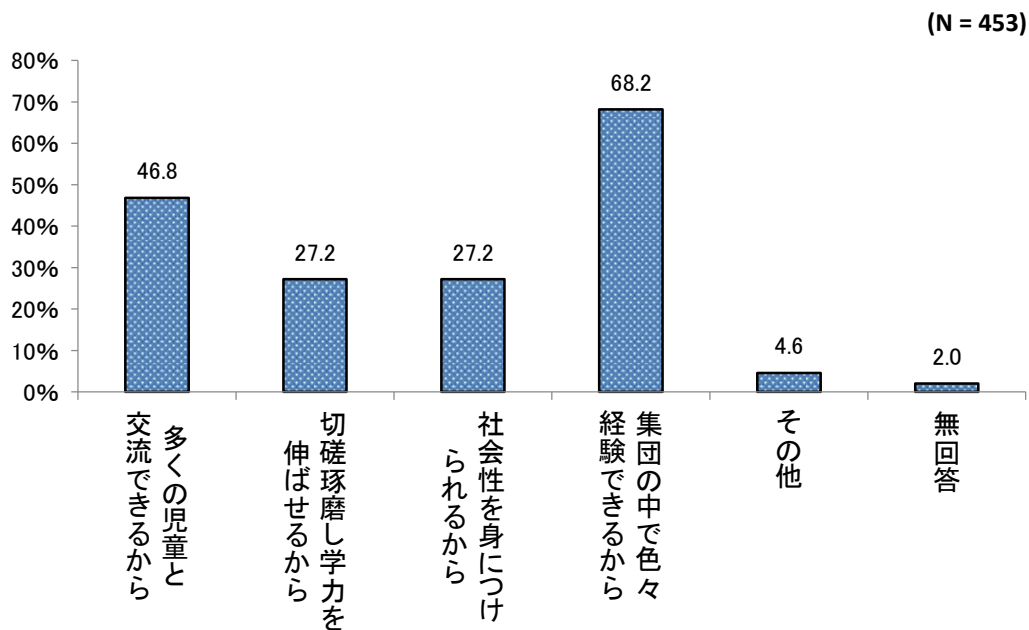
小学校区別では、滑石、八嘉、横島で「丁寧な学習指導を期待するから」が最も高く、伊倉、大浜で「個別の対応が十分とれるから」及び「丁寧な学習指導を期待するから」が同率で最も高い。それ以外の小学校区では、「個別の対応が十分とれるから」が最も高くなっている。

(上段:件数、下段:%)

	回答数	丁寧な学習指導を期待するから	学力を伸ばせるから	個別の対応が十分とれるから	一人一人の活躍の場が保障されるから	その他	無回答	
全体	388	251 64.7	21 5.4	276 71.1	77 19.8	21 5.4	7 1.8	
小学校区	玉名町	26 69.2	18 69.2	4 15.4	20 76.9	1 3.8	2 7.7	0 0.0
	築山	21 66.7	14 66.7	1 4.8	15 71.4	5 23.8	1 4.8	0 0.0
	滑石	37 73.0	27 73.0	3 8.1	26 70.3	6 16.2	1 2.7	0 0.0
	八嘉	20 65.0	13 65.0	1 5.0	12 60.0	3 15.0	1 5.0	2 10.0
	伊倉	31 61.3	19 61.3	2 6.5	19 61.3	6 19.4	3 9.7	1 3.2
	玉陵	24 62.5	15 62.5	1 4.2	18 75.0	8 33.3	0 0.0	0 0.0
	大浜	29 69.0	20 69.0	0 0.0	20 69.0	5 17.2	1 3.4	1 3.4
	豊水	46 60.9	28 60.9	3 6.5	35 76.1	10 21.7	2 4.3	1 2.2
	横島	24 79.2	19 79.2	1 4.2	16 66.7	4 16.7	2 8.3	0 0.0
	大野	16 68.8	11 68.8	0 0.0	12 75.0	2 12.5	2 12.5	0 0.0
	睦合	22 59.1	13 59.1	0 0.0	16 72.7	6 27.3	1 4.5	1 4.5
	鍋	27 48.1	13 48.1	2 7.4	18 66.7	4 14.8	3 11.1	0 0.0
	高道	18 72.2	13 72.2	1 5.6	14 77.8	4 22.2	0 0.0	1 5.6
	玉水	20 70.0	14 70.0	0 0.0	16 80.0	4 20.0	0 0.0	0 0.0
	小天	25 56.0	14 56.0	2 8.0	17 68.0	9 36.0	2 8.0	0 0.0

問7 問5で3または4を選んだ方におたずねします。問5でお答えになった理由はなんですか。あてはまるものをお選びください。【〇は2つまで】

「集団の中で色々経験できるから」が 68.2%と最も高く、次いで「多くの児童と交流できるから」が 46.8%、「切磋琢磨し学力を伸ばせるから」及び「社会性を身につけられるから」が同率で 27.2%となっている。



#### <その他の主な意見>

##### 教師の負担軽減 意見数 9 件

- ・先生の目も程よく届く。
- ・生徒数が多すぎると、先生の負担が増え、目が届かなくなる。

##### 人数が多いと色々な経験ができる (安心) 意見数 3 件

- ・自分の小学校時代も 30 名で、人数が多いとも少ないとも思わず、皆と仲良く出来たと思うため。
- ・チーム (学習班、体育チームなど) での活動が可能。
- ・それなりの数の子供と交流でき、人数の多すぎる学級よりも目が届きやすいため。

##### その他 意見数 8 件

- ・自分の学生時代がそうだったため。



年齢別では、すべての年齢層で「集団の中で色々経験できるから」が6～7割台で最も高く、次いで「多くの児童と交流できるから」となっている。また、50代以上では、「切磋琢磨し学力を伸ばせるから」が4割強と、他の年齢層に比べて高い傾向がみられる。

性別では、男女ともに「集団の中で色々経験できるから」が最も高く、特に女性では7割強となっている。

最も若い同居家族別では、未就学児、小学生、中学生以下はいないで「集団の中で色々経験できるから」が最も高く、中学生では「多くの児童と交流できるから」が最も高い。

(上段:件数、下段:%)

		回答数	多くの児童と交流できるから	切磋琢磨し学力を伸ばせるから	社会性を身につけるから	集団の中で色々経験できるから	その他	無回答
全体		453	212 46.8	123 27.2	123 27.2	309 68.2	21 4.6	9 2.0
年齢	20代	77	38 49.4	17 22.1	24 31.2	49 63.6	6 7.8	1 1.3
	30代	157	71 45.2	29 18.5	52 33.1	117 74.5	6 3.8	4 2.5
	40代	94	48 51.1	25 26.6	26 27.7	67 71.3	4 4.3	1 1.1
	50代以上	124	55 44.4	52 41.9	21 16.9	75 60.5	5 4.0	3 2.4
性別	男性	202	100 49.5	53 26.2	58 28.7	130 64.4	9 4.5	3 1.5
	女性	244	108 44.3	70 28.7	62 25.4	174 71.3	12 4.9	6 2.5
(最も若い同居家族)	未就学児	107	49 45.8	17 15.9	37 34.6	81 75.7	5 4.7	4 3.7
	小学生	49	24 49.0	13 26.5	8 16.3	36 73.5	4 8.2	0 0.0
	中学生	23	14 60.9	4 17.4	6 26.1	13 56.5	1 4.3	1 4.3
	中学生以下はいない	272	125 46.0	88 32.4	71 26.1	179 65.8	11 4.0	4 1.5

小学校区別では、滑石、八嘉で「多くの児童と交流できるから」が最も高く、6割を超えている。それ以外の小学校区では、「集団の中で色々経験できるから」が最も高くなっている。

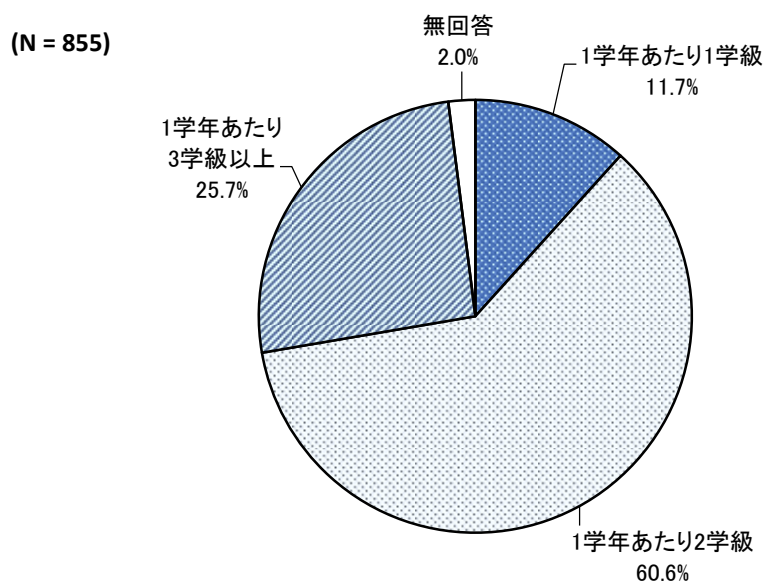
(上段:件数、下段:%)

	回答数	多くの児童と交流できるから	切磋琢磨し学力を伸ばせるから	社会性を身につけられるから	集団の中で色々経験できるから	その他	無回答	
全体	453	212 46.8	123 27.2	123 27.2	309 68.2	21 4.6	9 2.0	
小学校区	玉名町	40	20 50.0	6 15.0	13 32.5	32 80.0	0 0.0	1 2.5
	築山	46	21 45.7	16 34.8	11 23.9	30 65.2	2 4.3	0 0.0
	滑石	19	14 73.7	3 15.8	4 21.1	13 68.4	0 0.0	0 0.0
	八嘉	31	19 61.3	7 22.6	11 35.5	16 51.6	0 0.0	0 0.0
	伊倉	20	7 35.0	6 30.0	5 25.0	17 85.0	1 5.0	0 0.0
	玉陵	28	15 53.6	8 28.6	7 25.0	22 78.6	0 0.0	0 0.0
	大浜	27	9 33.3	7 25.9	6 22.2	19 70.4	3 11.1	0 0.0
	豊水	16	9 56.3	3 18.8	5 31.3	10 62.5	1 6.3	1 6.3
	横島	34	17 50.0	6 17.6	11 32.4	22 64.7	2 5.9	1 2.9
	大野	31	9 29.0	11 35.5	9 29.0	21 67.7	3 9.7	0 0.0
	睦合	33	17 51.5	11 33.3	11 33.3	19 57.6	1 3.0	0 0.0
	鍋	32	14 43.8	11 34.4	3 9.4	21 65.6	3 9.4	1 3.1
	高道	37	16 43.2	10 27.0	13 35.1	22 59.5	2 5.4	2 5.4
	玉水	24	12 50.0	7 29.2	6 25.0	16 66.7	2 8.3	1 4.2
	小天	30	13 43.3	11 36.7	5 16.7	25 83.3	1 3.3	1 3.3

## ②学級数について

問8 小学校の学級数は、法令によると「1学年あたり2～3学級(1校あたり12～18学級)を標準とする」となっています。1学年あたりの学級数について、あなたはどの程度が望ましいと思われますか。【1つに○】

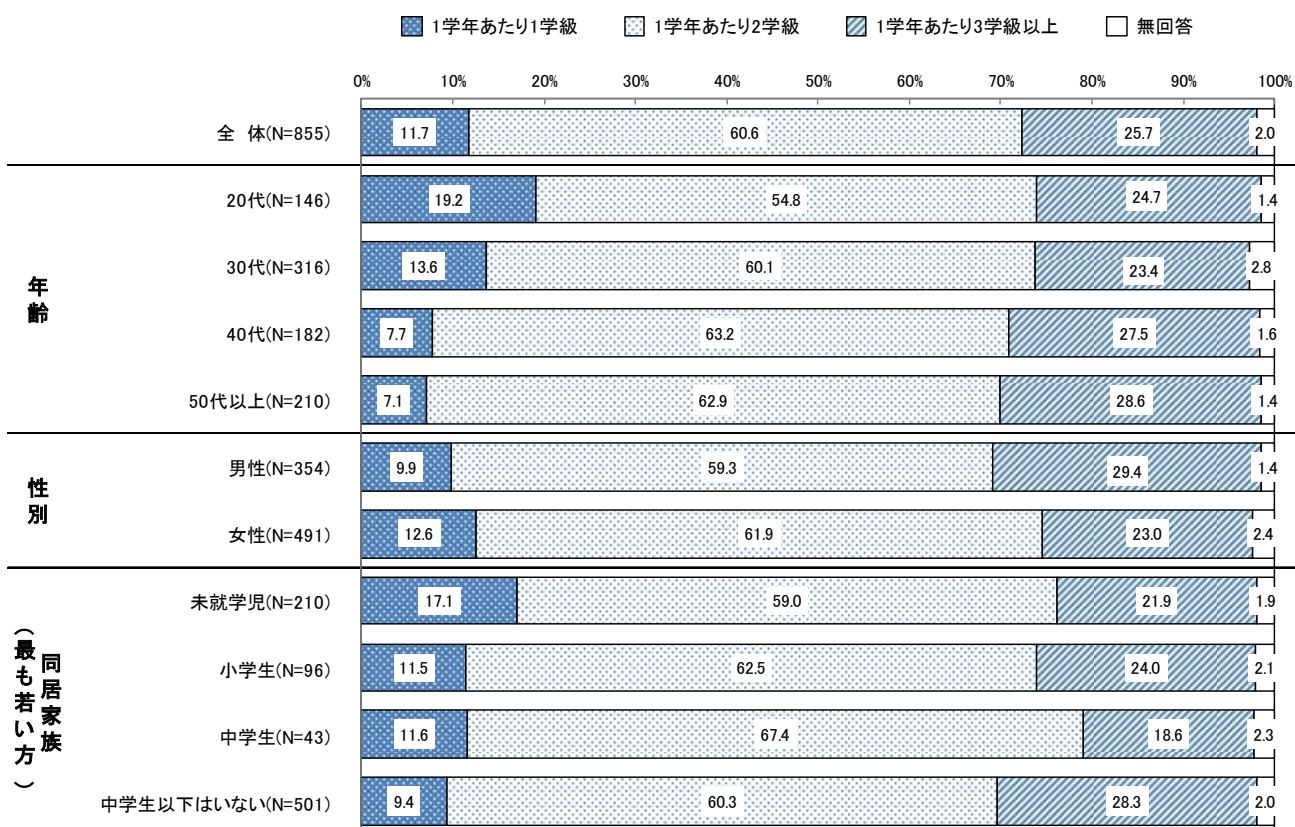
「1学年あたり2学級」が60.6%と最も高く、次いで「1学年あたり3学級以上」が25.7%、「1学年あたり1学級」が11.7%となっている。



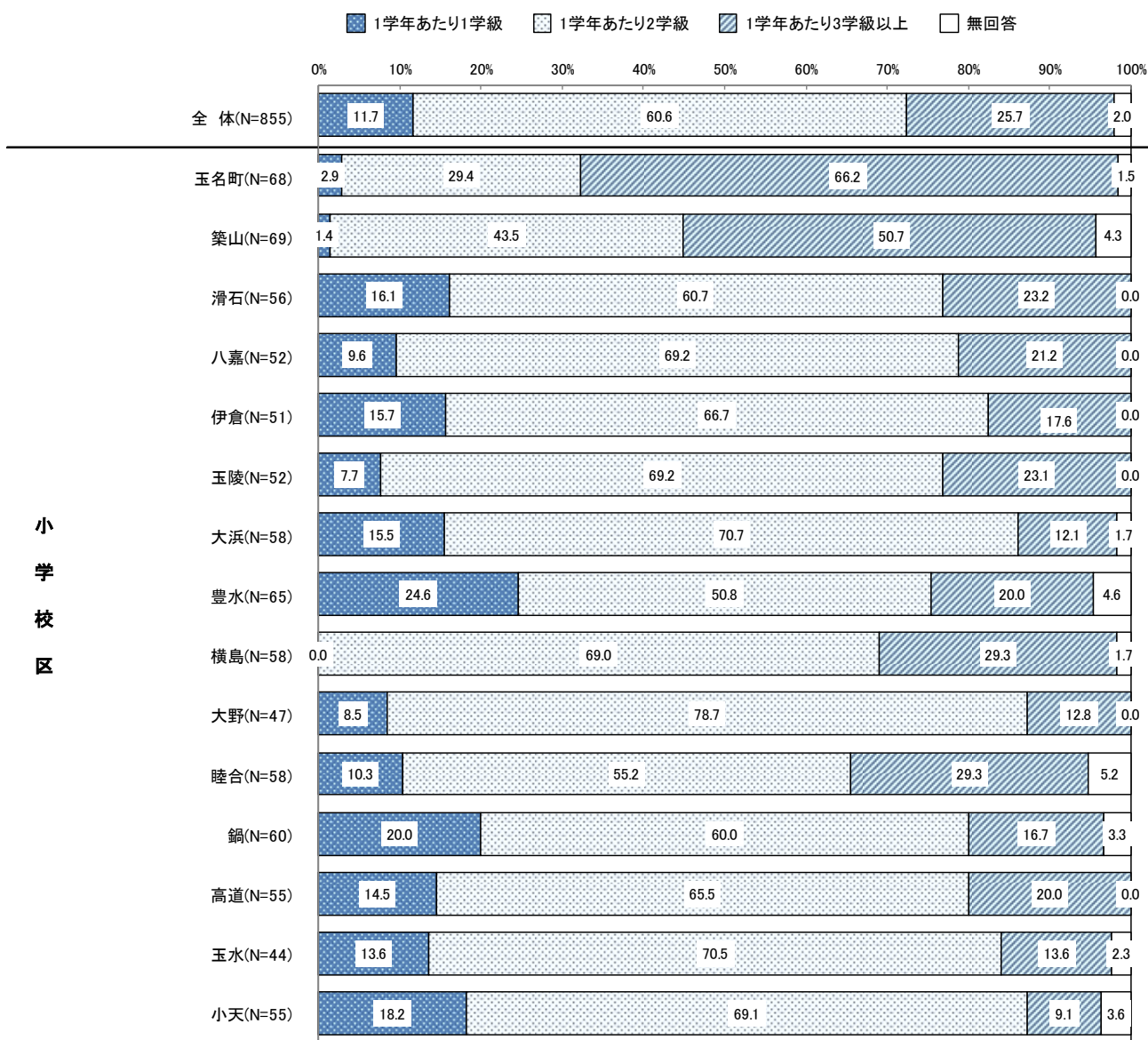
年齢別では、すべての年齢層で「1学年あたり2学級」が過半数を占めて最も高く、次いで「1学年あたり3学級以上」が2割台となっている。20代では、「1学年あたり1学級」が約2割で、他の年齢層に比べて高い傾向がみられる。

性別では、男女ともに「1学年あたり2学級」が最も高く、次いで「1学年あたり3学級以上」となっている。

最も若い同居家族別では、すべての区分で「1学年あたり2学級」が最も高く、次いで「1学年あたり3学級以上」となっている。中学生以下はいないでは、「1学年あたり3学級以上」が3割弱で、他の区分に比べて高い傾向がみられる。

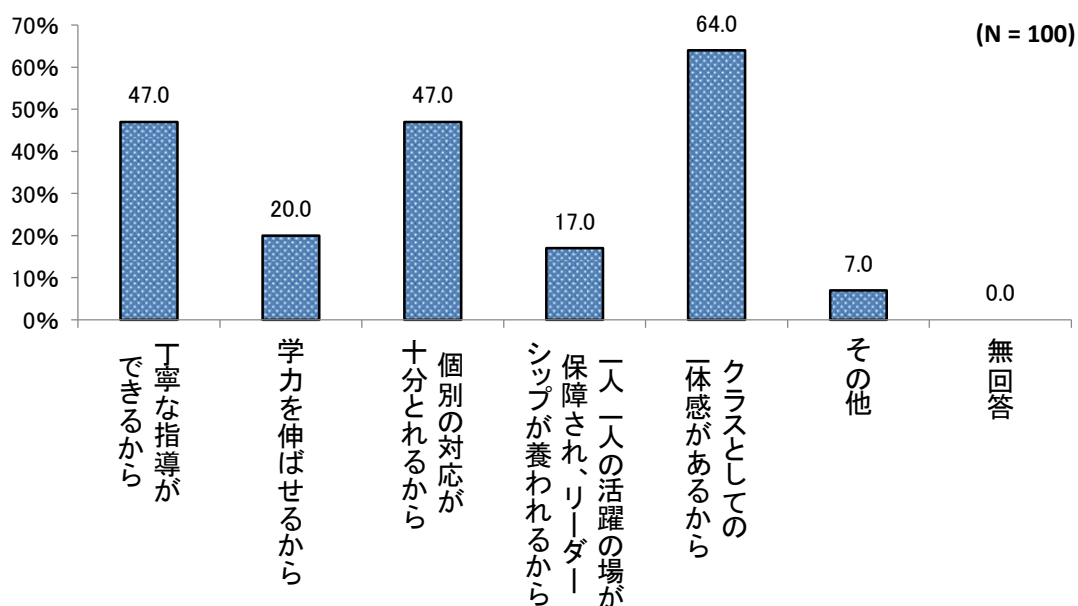


小学校区別では、玉名町、築山で「1学年あたり3学級以上」が最も高く、玉名町では6割半ば、築山では約5割となっている。それ以外の小学校区では「1学年あたり2学級」が最も高く、過半数を占めている。



問9 問8で1を選んだ方におたずねします。問8でお答えになった理由はなんですか。あてはまるものをお選びください。  
【〇は3つまで】

「クラスとしての一体感があるから」が 64.0%と最も高く、次いで「丁寧な指導ができるから」及び「個別の対応が十分とれるから」が同率で 47.0%、「学力を伸ばせるから」が 20.0%となっている。



### <その他の意見>

#### 意見数 7 件

- ・クラス分けがあるとそのクラスでしか仲良くできなさそう。
- ・子供のクラスも一学年一クラスだったが、特に問題を感じなかった。
- ・交流がしやすいから。
- ・先生の目が行き届く。
- ・1学級あれば十分。
- ・自分が小学校で1学級だったから。
- ・自分のときが1学年1学級で、問題なかったため。

年齢別では、すべての年齢層で「クラスとしての一体感があるから」が6～7割台を占めて最も高くなっている。また、40代では、「丁寧な指導ができるから」及び「個別の対応が十分とれるから」がともに6割半ばで他の年齢層に比べて高い傾向がみられる。

性別では、男性は「丁寧な指導ができるから」が、女性は「クラスとしての一体感があるから」がともに6割半ばで最も高い。また、男性では「クラスとしての一体感があるから」も6割と高くなっている。

最も若い同居家族別では、回答数が10件未満であった中学生以外のすべての区分で「クラスとしての一体感があるから」が最も高く、5割半ばから7割強を占めている。

(上段:件数、下段:%)

		回答数	か丁寧な指導ができる	学力を伸ばせるから	十個別の対応から	るダが一が一人一人の活躍の場	感クラスとしての一体	その他	無回答
全体		100	47 47.0	20 20.0	47 47.0	17 17.0	64 64.0	7 7.0	0 0.0
年齢	20代	28	8 28.6	4 14.3	11 39.3	6 21.4	18 64.3	2 7.1	0 0.0
	30代	43	22 51.2	8 18.6	19 44.2	6 14.0	27 62.8	4 9.3	0 0.0
	40代	14	9 64.3	3 21.4	9 64.3	1 7.1	10 71.4	1 7.1	0 0.0
	50代以上	15	8 53.3	5 33.3	8 53.3	4 26.7	9 60.0	0 0.0	0 0.0
性別	男性	35	23 65.7	9 25.7	16 45.7	5 14.3	21 60.0	3 8.6	0 0.0
	女性	62	22 35.5	11 17.7	28 45.2	12 19.4	40 64.5	4 6.5	0 0.0
(最も若い同居家族)	未就学児	36	15 41.7	8 22.2	19 52.8	7 19.4	20 55.6	3 8.3	0 0.0
	小学生	11	6 54.5	0 0.0	6 54.5	1 9.1	8 72.7	1 9.1	0 0.0
	中学生	5	2 40.0	3 60.0	2 40.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0
	中学生以下はない	47	24 51.1	9 19.1	19 40.4	8 17.0	32 68.1	2 4.3	0 0.0

小学校区別では、鍋、小天で「クラスとしての一体感があるから」が8割台を占めて最も高く、豊水では「丁寧な指導ができるから」及び「個別の対応が十分とれるから」がともに5割半ばで最も高くなっている。なお、それ以外の小学校区では、回答数が10件未満のため、コメントは省略する。

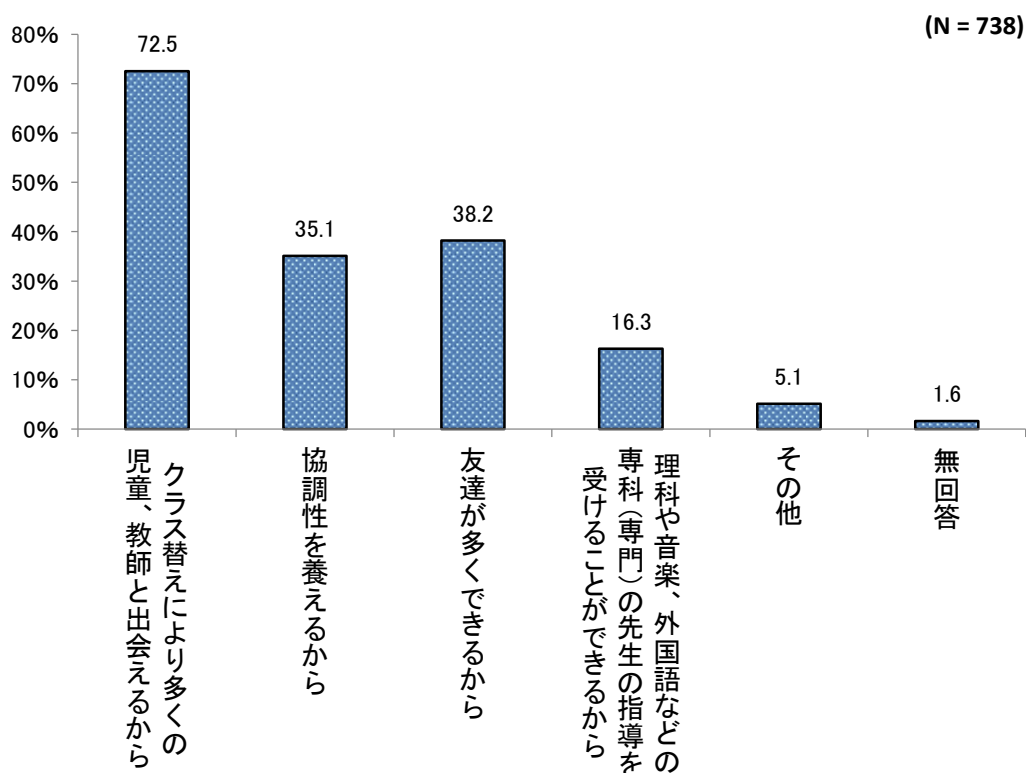
(上段:件数、下段:%)

	回答数	丁寧な指導ができるから	学力を伸ばせるから	個別の対応が十分とれるから	一人ひとりの活躍の場から	一人ひとりの活躍の場から	クラスとしての一体感があるから	その他	無回答
全体	100	47 47.0	20 20.0	47 47.0	17 17.0	64 64.0	7 7.0	0 0.0	
小学校区	玉名町	2 50.0	1 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	築山	1 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	滑石	9 33.3	3 33.3	3 33.3	6 66.7	2 22.2	6 66.7	2 22.2	0 0.0
	八嘉	5 20.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	3 60.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0
	伊倉	8 62.5	5 25.0	2 25.0	1 12.5	2 25.0	3 37.5	1 12.5	0 0.0
	玉陵	4 50.0	2 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0
	大浜	9 11.1	1 11.1	2 22.2	5 55.6	3 33.3	5 55.6	0 0.0	0 0.0
	豊水	16 56.3	9 56.3	4 25.0	9 56.3	3 18.8	8 50.0	0 0.0	0 0.0
	横島	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	大野	4 75.0	3 75.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0
	睦合	6 66.7	4 66.7	2 33.3	4 66.7	2 33.3	3 50.0	0 0.0	0 0.0
	鍋	12 50.0	6 50.0	1 8.3	4 33.3	0 0.0	10 83.3	1 8.3	0 0.0
	高道	8 25.0	2 25.0	1 12.5	4 50.0	0 0.0	5 62.5	1 12.5	0 0.0
	玉水	6 83.3	5 83.3	3 50.0	2 33.3	1 16.7	5 83.3	0 0.0	0 0.0
	小天	10 50.0	5 50.0	0 0.0	5 50.0	1 10.0	8 80.0	0 0.0	0 0.0



問10 問8で2または3を選んだ方におたずねします。問8でお答えになった理由はなんですか。あてはまるものをお選びください。【〇は2つまで】

「クラス替えにより多くの児童、教師と出会えるから」が72.5%と最も高く、次いで「友達が多くできるから」が38.2%、「協調性を養えるから」が35.1%となっている。



### <その他の主な意見>

#### 集団での経験ができる（競い合う、切磋琢磨） 意見数 19 件

- ・クラス対抗で様々なレクリエーションが行えるため。
- ・他クラスと競い合うことでの、チームワークやリーダーシップが学べると思うため。
- ・個別の対応が十分とれる、及び一定の集団規模の中で多様な考えや切磋琢磨することに触れる機会の両立が望まれる。
- ・クラス対抗の行事などができ、仲間意識も高まる。多くの友達からの刺激を受けることができる。
- ・固定化した人間関係にしばられず、先生たちが助け合いながら働くことができそうのため。
- ・複数学級による競争意識、団結力、協調性の養成と多様性への理解力向上。
- ・クラス対抗行事等で、より切磋琢磨し、1クラスでは体験できない良い刺激になると考えるため。

#### クラス替えができる（色々な人と出会える） 意見数 8 件

- ・万が一、合わない生徒や教師がいてもクラス替えが期待できる。
- ・人間関係が悪くなった時に、次学年で調整や配慮ができる。

#### その他 意見数 12 件

- ・丁度良いから。

年齢別では、すべての年齢層で「クラス替えにより多くの児童、教師と出会えるから」が最も高く、7割弱から8割弱を占めている。次いで、20代、30代、40代は「友達が多くできるから」が約4割から4割半ば、50代以上は「協調性を養えるから」が3割半ばと続いている。

性別では、男女ともに「クラス替えにより多くの児童、教師と出会えるから」が7割を超えて最も高い。

最も若い同居家族別では、すべての区分で「クラス替えにより多くの児童、教師と出会えるから」が7割台で最も高い。次いで、未就学児、小学生、中学生では「友達が多くできるから」が4割台で続いている。また、中学生以下はいないでは「友達が多くできるから」及び「協調性を養えるから」がともに3割半ばでほぼ同程度となっている。

(上段:件数、下段:%)

		回答数	のクラス、替えにより多く出会えるから児童、教師と	協調性を養えるから	友達が多くできるから	が生どの理科や音楽、外国語など指導を受けこの先	その他	無回答
全体		738	535 72.5	259 35.1	282 38.2	120 16.3	38 5.1	12 1.6
年齢	20代	116	90 77.6	37 31.9	51 44.0	10 8.6	9 7.8	2 1.7
	30代	264	189 71.6	91 34.5	109 41.3	27 10.2	16 6.1	4 1.5
	40代	165	126 76.4	62 37.6	65 39.4	28 17.0	6 3.6	0 0.0
	50代以上	192	130 67.7	69 35.9	57 29.7	54 28.1	7 3.6	6 3.1
性別	男性	314	231 73.6	107 34.1	123 39.2	49 15.6	19 6.1	4 1.3
	女性	417	298 71.5	149 35.7	158 37.9	71 17.0	18 4.3	8 1.9
(最も若い同居家族)	未就学児	170	127 74.7	64 37.6	78 45.9	13 7.6	8 4.7	1 0.6
	小学生	83	59 71.1	28 33.7	35 42.2	10 12.0	7 8.4	1 1.2
	中学生	37	29 78.4	12 32.4	16 43.2	7 18.9	0 0.0	0 0.0
	中学生以下はいない	444	317 71.4	154 34.7	152 34.2	90 20.3	23 5.2	9 2.0

小学校区別では、すべての小学校区で「クラス替えにより多くの児童、教師と出会えるから」が6～8割台で最も高くなっている。

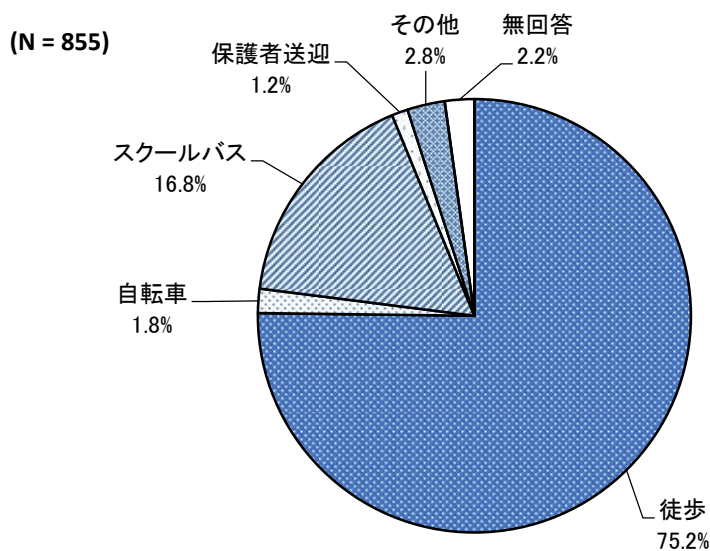
(上段:件数、下段:%)

		回答数	多くの児童、教師と出会えるから	クラス替えにより多く	協調性を養えるから	友達が多くできるから	が生の指導を受けること	どの科や音楽、外国語など	理科や音楽、外国語など	その他	無回答
全体		738	535 72.5	259 35.1	282 38.2	120 16.3	38 5.1	12 1.6			
小学校区	玉名町	65	53 81.5	22 33.8	25 38.5	12 18.5	3 4.6	1 1.5			
	築山	65	40 61.5	24 36.9	28 43.1	13 20.0	3 4.6	0 0.0			
	滑石	47	33 70.2	15 31.9	21 44.7	5 10.6	2 4.3	1 2.1			
	八嘉	47	29 61.7	19 40.4	19 40.4	7 14.9	2 4.3	1 2.1			
	伊倉	43	33 76.7	14 32.6	15 34.9	6 14.0	3 7.0	1 2.3			
	玉陵	48	36 75.0	14 29.2	19 39.6	8 16.7	3 6.3	1 2.1			
	大浜	48	36 75.0	19 39.6	14 29.2	4 8.3	4 8.3	1 2.1			
	豊水	46	34 73.9	16 34.8	20 43.5	6 13.0	2 4.3	1 2.2			
	横島	57	41 71.9	16 28.1	25 43.9	13 22.8	4 7.0	1 1.8			
	大野	43	31 72.1	14 32.6	12 27.9	9 20.9	3 7.0	2 4.7			
	睦合	49	43 87.8	14 28.6	16 32.7	11 22.4	1 2.0	0 0.0			
	鍋	46	28 60.9	21 45.7	16 34.8	9 19.6	0 0.0	1 2.2			
	高道	47	34 72.3	15 31.9	22 46.8	7 14.9	3 6.4	1 2.1			
	玉水	37	26 70.3	13 35.1	15 40.5	3 8.1	2 5.4	0 0.0			
	小天	43	33 76.7	21 48.8	12 27.9	7 16.3	2 4.7	0 0.0			

## 2-3 通学方法と通学距離について

問 11 小学生の通学方法として、どのような方法が最も望ましいと思われますか。【1つに○】

「徒歩」が75.2%と最も高く、7割半ばを占めており、次いで「スクールバス」が16.8%、「自転車」が1.8%となっている。



### <その他の主な意見>

スクールバスを併用する（距離、学年、時間に応じて） 意見数 10 件

- ・ 距離に応じて徒歩やスクールバスを利用。
- ・ 近距離は徒歩か保護者送迎、それ以外はスクールバス。
- ・ 学年別で自転車、バス等選べる。

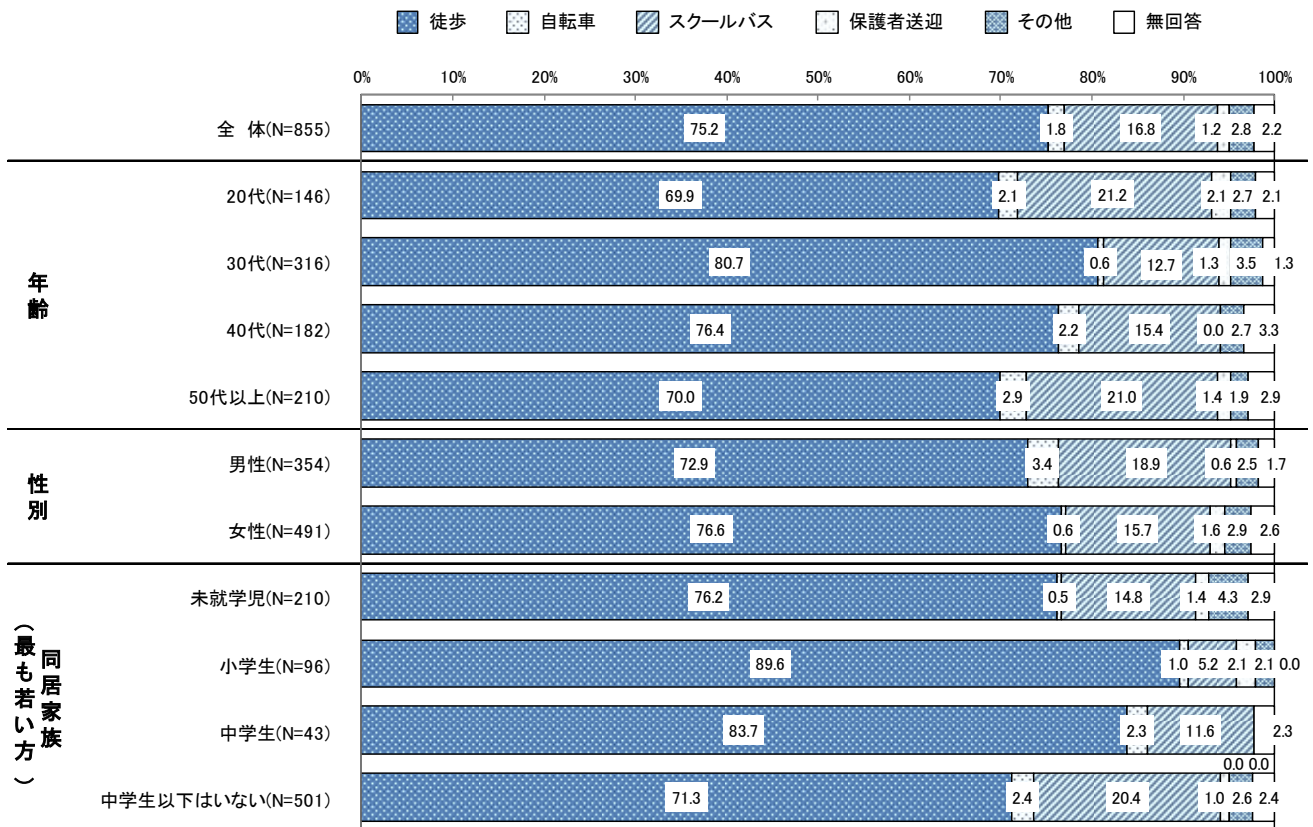
その他 意見数 12 件

- ・ 徒歩（大人同伴）。
- ・ 距離や通学路の安全性によって異なる対応。
- ・ 保護者が全ての選択をできるように。
- ・ 安全面が十分に確保できれば好き好きで良いと思う。
- ・ 徒歩が望ましいと思うが、距離や場所にもよると思う。
- ・ 何でも経験になるのでいいと思う。

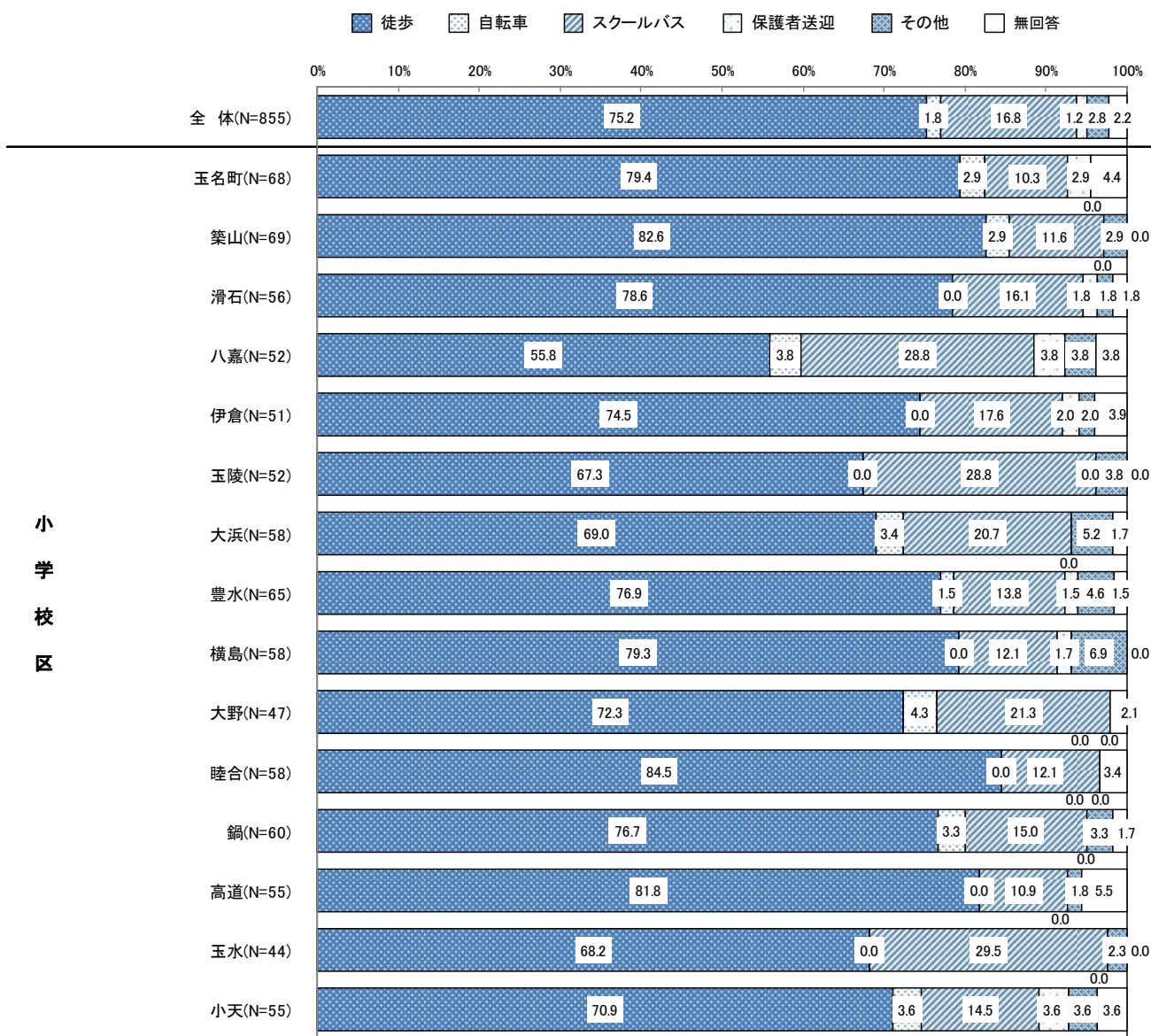
年齢別では、すべての年齢層で「徒歩」が約7割から約8割を占めて最も高く、次いで「スクールバス」が1~2割台となっている。

性別では、男女ともに「徒歩」が7割台と最も高く、次いで「スクールバス」が1割台となっている。

最も若い同居家族別では、すべての区分で「徒歩」が最も高く、特に、小学生と中学生では8割を超えている。また、中学生以下はいないでは「スクールバス」が約2割で、他の区分に比べてやや高い傾向がみられる。

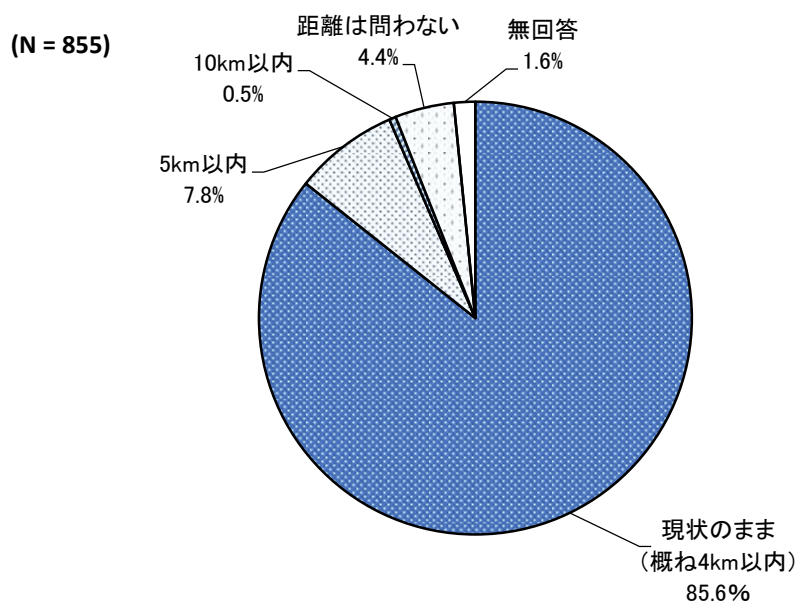


小学校区別では、すべての小学校区で「徒歩」が過半数を占めて最も高い。次いで、いずれの小学校区においても、「スクールバス」が続いているが、そのうち八嘉、玉陵、玉水は3割弱と、他の小学校区に比べてやや高い傾向がみられる。



問 12 玉名市内では、徒歩やスクールバスを利用して小学校へ登校しています。徒歩での通学距離はどの程度までが望ましいと思われますか。【1つに○】

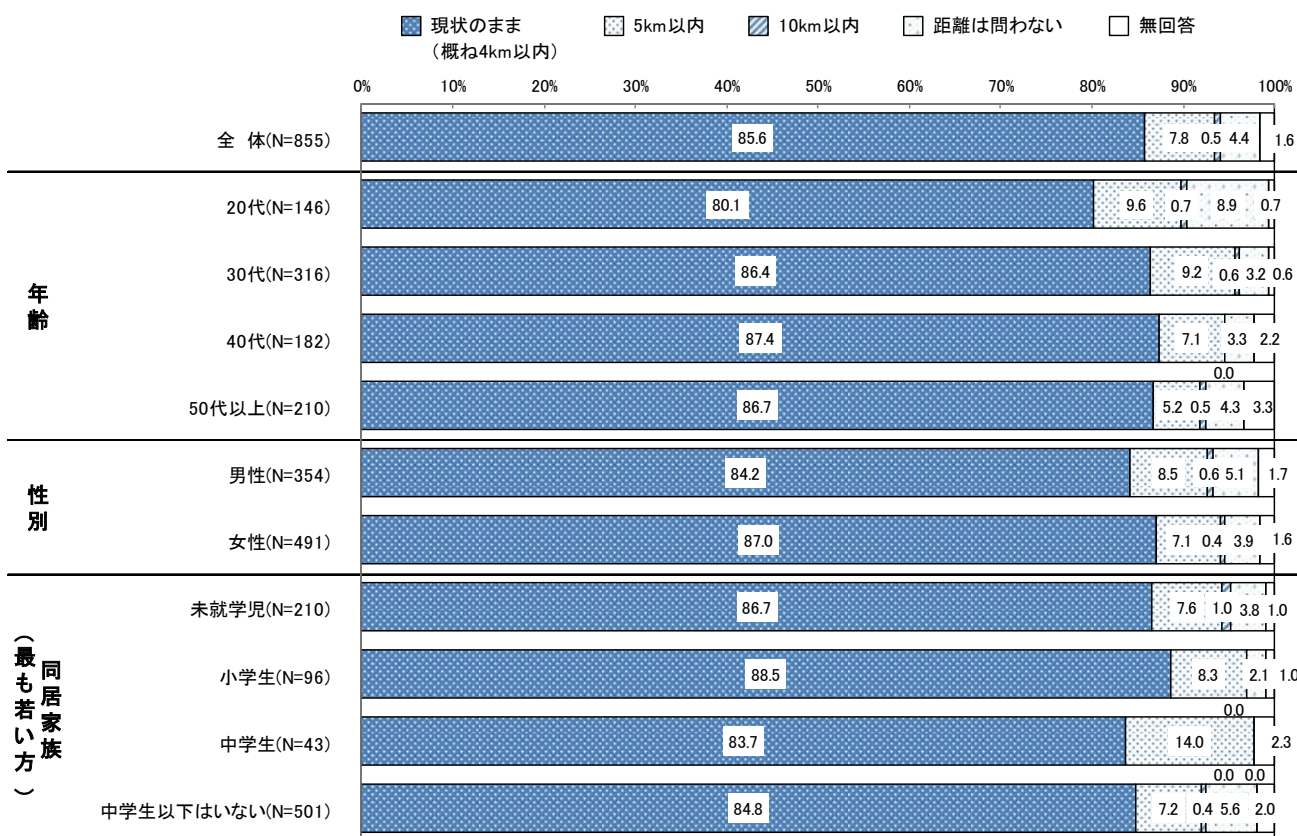
「現状のまま（概ね 4km 以内）」が 85.6%と最も高く、8 割半ばを占めており、次いで「5km 以内」が 7.8%、「距離は問わない」が 4.4%となっている。



年齢別では、すべての年齢層で「現状のまま（概ね4km以内）」が8割を超えて最も高く、次いで「5km以内」となっている。

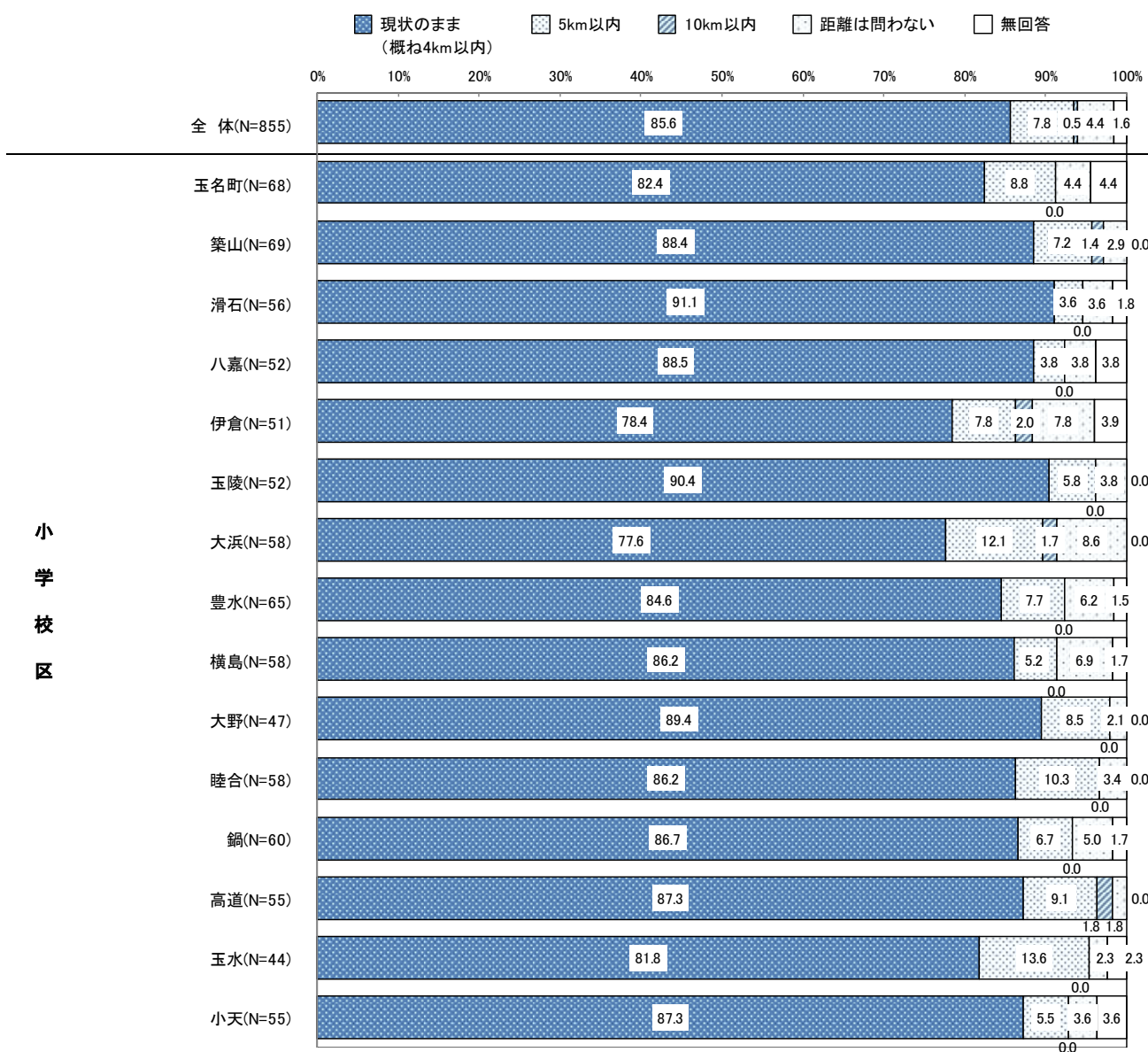
性別では、男女ともに「現状のまま（概ね4km以内）」が最も高く、男性では8割半ば、女性では9割弱となっている。

最も若い同居家族別では、すべての区分で「現状のまま（概ね4km以内）」が8割台を占めて最も高い。中学生では、「5km以内」が1割半ばを占めており、他の区分に比べて高い傾向がみられる。



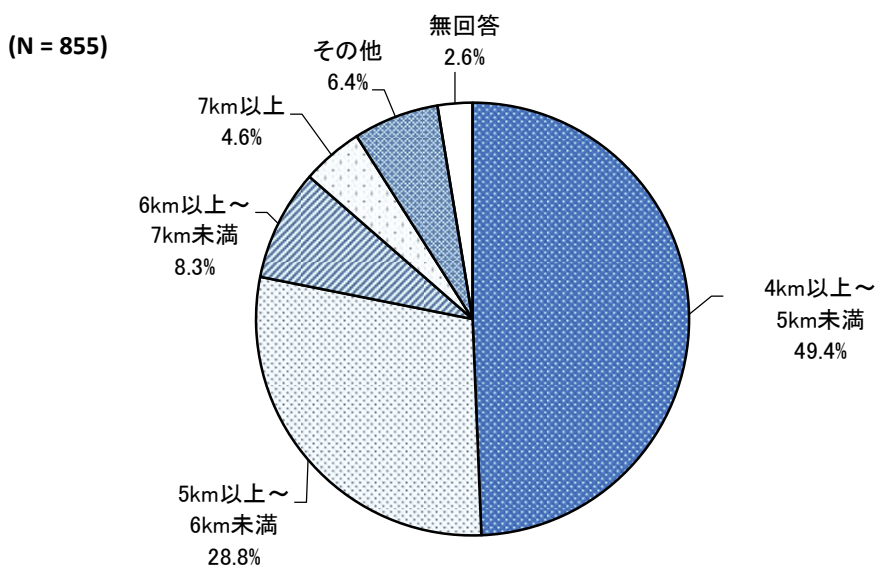


小学校区別では、すべての小学校区で「現状のまま（概ね4km以内）」が8割弱から9割強を占めて最も高い。また、大浜、睦合、玉水では「5km以内」が1割を超えており、他の小学校区に比べてやや高い傾向がみられる。



問 13 小学校のスクールバスは、どれくらいの通学距離からの利用が好ましいと思われますか。【1 つに〇】

「4km 以上～5km 未満」が 49.4%と最も高く、約半数を占めており、次いで「5km 以上～6km 未満」が 28.8%、「6km 以上～7km 未満」が 8.3%となっている。



<その他の主な意見>

4km以下 意見数 24 件

- ・ 1km 以上
- ・ 1km～1.5km
- ・ 2km 以上
- ・ 3km 以上
- ・ 2.5km。希望出来るなら km にかかわらず利用したい。
- ・ 4km 以下。大型トラックが狭い道を通って不安なため、通学路が短くても利用したい。
- ・ 近距離（1km 以内）は徒歩か保護者送迎、それ以上は全てスクールバス。

学年や体力、現状に応じて判断を 意見数 13 件

- ・ 4km で大丈夫と思ったが、車通りの多い地域に関しては、2～3km でもスクールバスの検討は必要だと思う。
- ・ 上級生と下級生によって異なると思う。
- ・ 体力の差もあると思うため、距離に関係なく柔軟に対応してほしい。
- ・ 低学年の 4km 通学はハードだと思う。5km 以上は完全スクールバスを望むがやはり体力低下は困る。
- ・ 4km 以上で、1～2km は徒歩とさせる。学校周辺 1～2km で下車するなど。
- ・ 距離・安全面をもとに。
- ・ 学年により、通学距離は異なると思う。
- ・ 距離だけでなく、道路の整備状況や安全性など、総合的に判断。

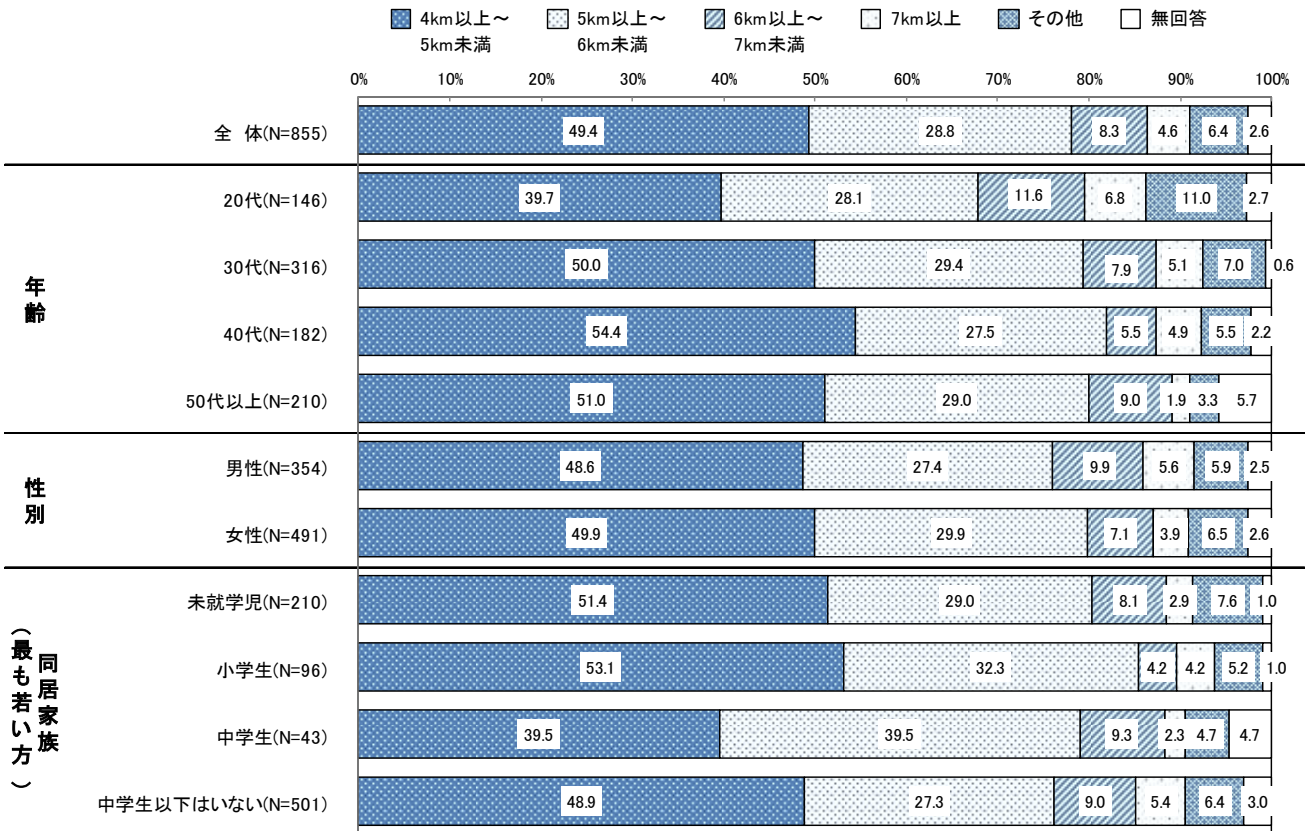
その他 意見数 14 件

- ・ 4km 以上からスクールバスを利用して良いと思うが、ある程度歩いた場所にバス停があれば、体力は低下しないと考える。
- ・ 距離にかかわらず、希望者全員。
- ・ 通学児童数による（登下校時に安全な人員の確保）。
- ・ 上記の理由、距離だけではなく危険度も考えてほしい。
- ・ 距離は問わない。

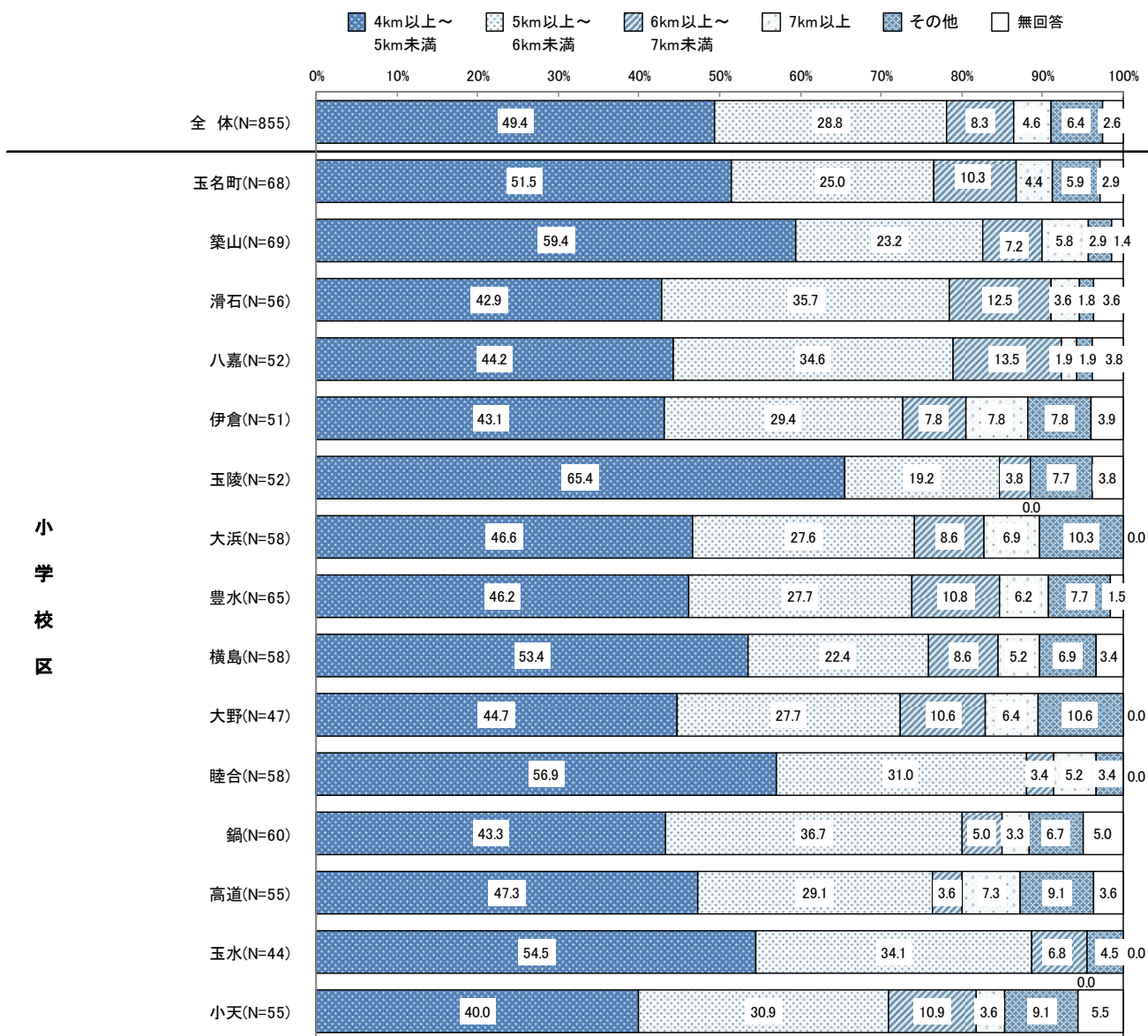
年齢別では、すべての年齢層で「4km以上～5km未満」が約4割から5割半ばを占めて最も高く、次いで「5km以上～6km未満」が2割台となっている。

性別では、男女ともに「4km以上～5km未満」が最も高く、次いで「5km以上～6km未満」となっている。

最も若い同居家族別では、未就学児、小学生、中学生以下はいないで「4km以上～5km未満」が最も高く、中学生では「4km以上～5km未満」及び「5km以上～6km未満」が同率で最も高い。



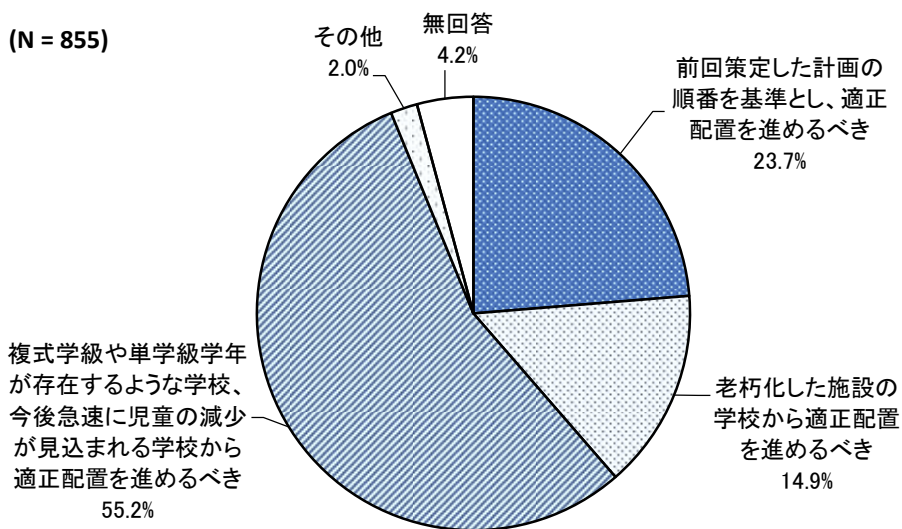
小学校区別では、すべての区分で「4km以上～5km未満」が4割から6割半ばで最も高く、次いで「5km以上～6km未満」となっている。



## 2-4 学校の適正配置の決め方について

問 14 玉名市の児童・生徒数は減少しており、今後も減少する見込みとなっています。人口減少により複式学級が存在する学校や、クラス替えのできない学校もあり、今後も玉名市は学校の再編を進めていきます。学校再編にあたり、どのような基準で進めるべきだと思いますか。【1つに○】

「複式学級や単学級学年が存在するような学校、今後急速に児童の減少が見込まれる学校から適正配置を進めるべき」が 55.2%と最も高く、過半数を占めており、次いで「前回策定した計画の順番を基準とし、適正配置を進めるべき」が 23.7%、「老朽化した施設の学校から適正配置を進めるべき」が 14.9%となっている。



### <その他の主な意見>

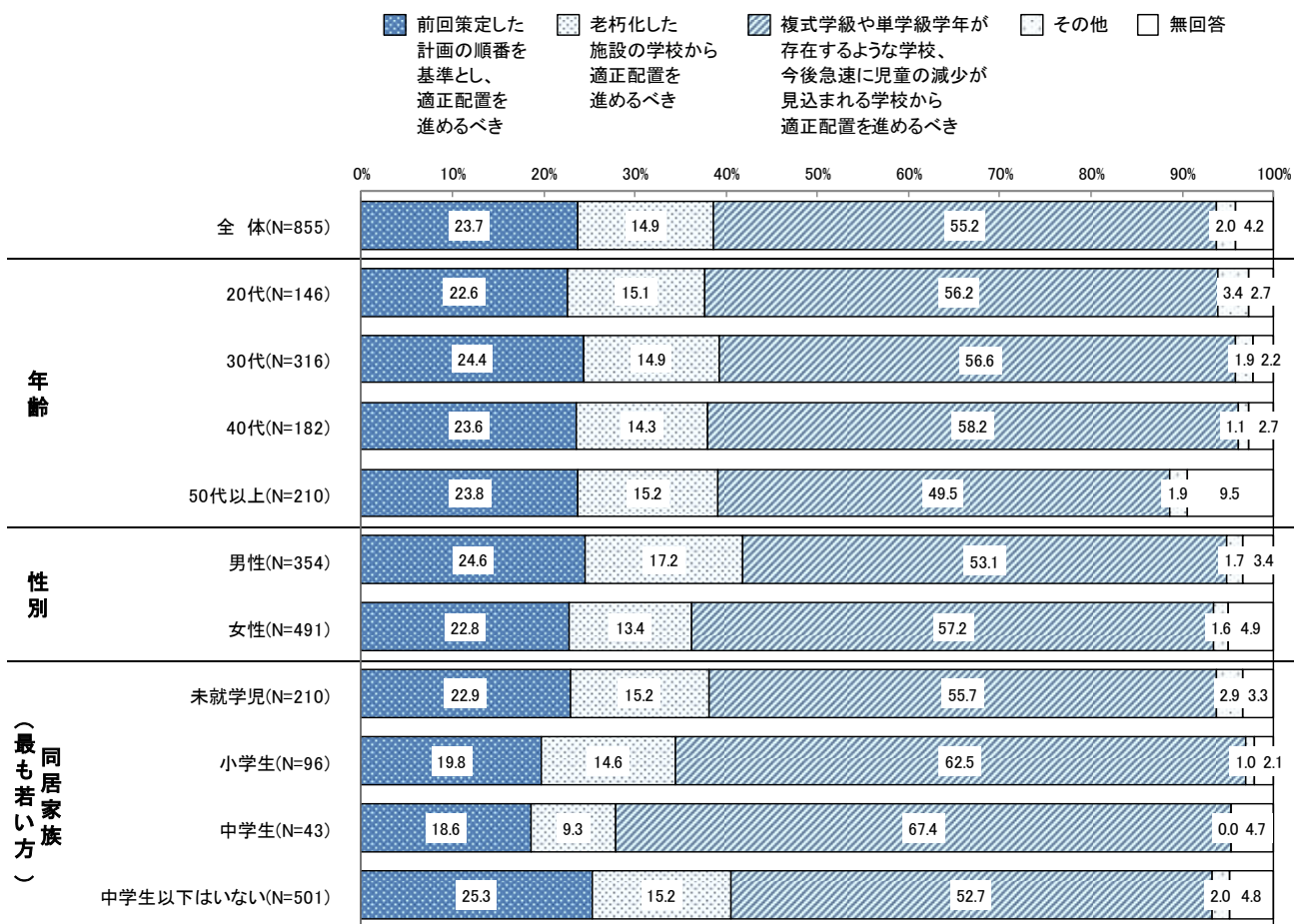
#### 意見数 15 件

- ・適正配置がわからない。
- ・人口で割るとき、生徒の通学のしやすさや、スクールバスの導入、施設の老朽化の程度といったあらゆる事情から総合的に判断してほしい。再編した場合は理由を説明できることが何よりも大切。
- ・少人数の学校は合併をした方が効率がよい。
- ・再編すべきではない。
- ・少人数でも一人一人尊重される教育を受けられれば、適正配置を望まない。
- ・教育の質を下げないことを基準とする。
- ・多すぎると、運動会などPTAの参加時が大変になるため、現状でも良い。
- ・複式学級が存在する学校。

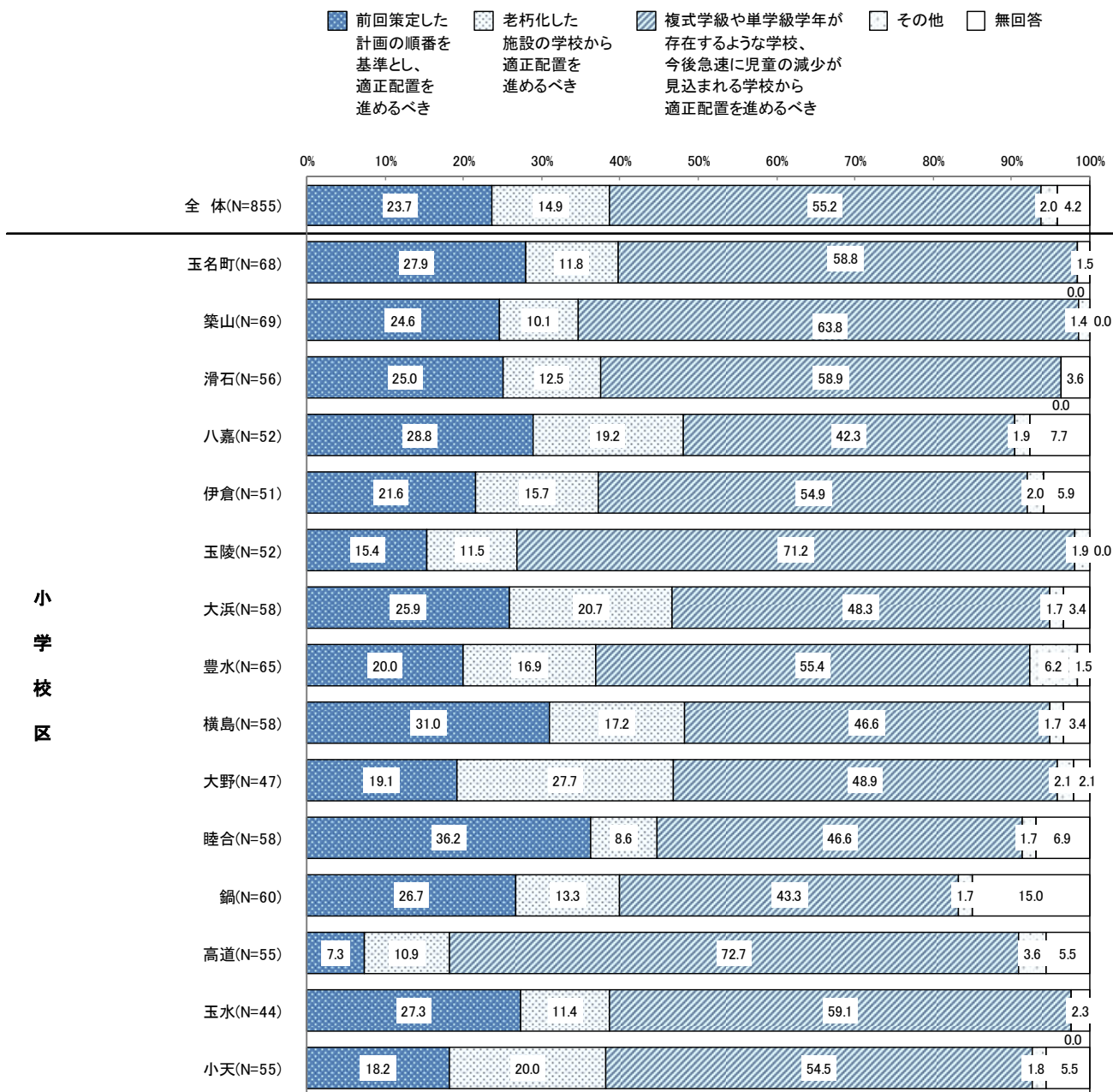
年齢別では、すべての年齢層で「複式学級や単学級学年が存在するような学校、今後急速に児童の減少が見込まれる学校から適正配置を進めるべき」が約半数から6割弱で最も高く、次いで「前回策定した計画の順番を基準とし、適正配置を進めるべき」が2割台となっている。

性別では、男女ともに「複式学級や単学級学年が存在するような学校、今後急速に児童の減少が見込まれる学校から適正配置を進めるべき」がともに過半数を占めて最も高くなっている。

最も若い同居家族別では、すべての区分で「複式学級や単学級学年が存在するような学校、今後急速に児童の減少が見込まれる学校から適正配置を進めるべき」が過半数を占めて最も高く、次いで「前回策定した計画の順番を基準とし、適正配置を進めるべき」が2割弱から2割半ばとなっている。

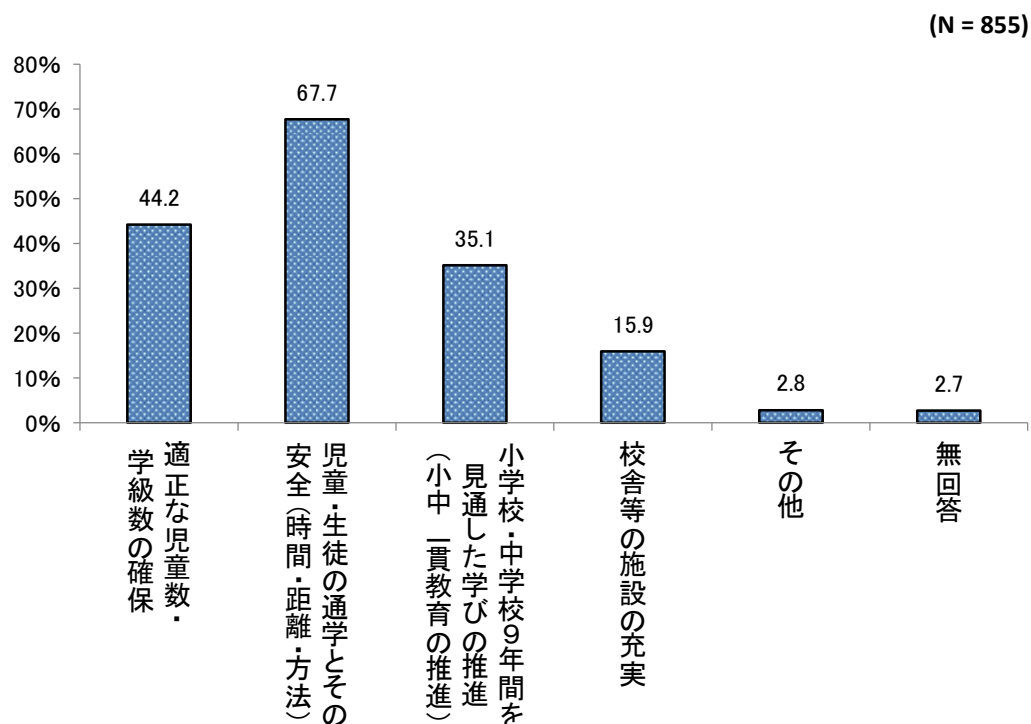


小学校区別では、すべての小学校区で「複式学級や単学級学年が存在するような学校、今後急速に児童の減少が見込まれる学校から適正配置を進めるべき」が最も高く、特に、玉陵と高道では7割強となっている。また、横島、睦合では「前回策定した計画の順番を基準とし、適正配置を進めるべき」が3割を超えており、他の小学校区に比べて高い傾向がみられる。



問 15 学校再編を進めるうえで何を望まれますか。【〇は2つまで】

「児童・生徒の通学とその安全（時間・距離・方法）」が 67.7%と最も高く、次いで「適正な児童数・学級数の確保」が 44.2%、「小学校・中学校 9 年間を見通した学びの推進（小中一貫教育の推進）」が 35.1%となっている。



<その他の主な意見>

意見数 23 件

- ・多様な教員に触れる機会の確保。
- ・教師の確保、いじめなどのない環境。生徒も教師も健全に過ごせること。
- ・学校再編は望まない。
- ・児童、生徒の気質や特性に合わせ、優れた人材を育てることのできる教師を育成することが何より急ぐべきことと考える。今は教師が子供たちを広い心で見えていない。教師にも無理のないようにしてあげないと学校が意味のないものになりつつある。
- ・今、これからの合わせた教育。
- ・生徒が楽しんでくれれば（精神的に）。
- ・一人一人に合わせた丁寧な教育、他校区からの差別やいじめがないこと。
- ・児童、先生、保護者、地域の連携・繋がり。
- ・体育の時間にサッカー等大人数のスポーツができる。
- ・小中一貫教育でなくてもいいが、高水準の学力の推進。



年齢別では、すべての年齢層で「児童・生徒の通学とその安全（時間・距離・方法）」が6割半ばから約7割で最も高く、次いで20代、30代、40代では「適正な児童数・学級数の確保」が4～5割台、50代以上では「小学校・中学校9年間を見通した学びの推進（小中一貫教育の推進）」が4割強と続いている。

性別では、男女ともに「児童・生徒の通学とその安全（時間・距離・方法）」が7割弱で最も高く、次いで「適正な児童数・学級数の確保」が4割台となっている。

最も若い同居家族別では、すべての区分で「児童・生徒の通学とその安全（時間・距離・方法）」が約6割から7割強を占めて最も高く、次いで「適正な児童数・学級数の確保」が約4割から4割半ばとなっている。

(上段:件数、下段:%)

		回答数	学適 級正 数の 確保 ・ 児童 数	離そ ・の 方安 法全 （生 ）徒 （時 間 ・ 距 と	の推 進問 （小 ・中 一 貫 教 育 の 年	校舎 等 の 施 設 の 充 実	そ の 他	無 回 答
全 体		855	378 44.2	579 67.7	300 35.1	136 15.9	24 2.8	23 2.7
年 齢	20代	146	77 52.7	102 69.9	44 30.1	26 17.8	3 2.1	2 1.4
	30代	316	133 42.1	217 68.7	105 33.2	62 19.6	10 3.2	4 1.3
	40代	182	89 48.9	122 67.0	61 33.5	30 16.5	5 2.7	3 1.6
	50代以上	210	79 37.6	137 65.2	89 42.4	18 8.6	6 2.9	14 6.7
性 別	男性	354	168 47.5	239 67.5	129 36.4	46 13.0	9 2.5	6 1.7
	女性	491	207 42.2	331 67.4	169 34.4	90 18.3	13 2.6	17 3.5
（最 も 若 い 方 ） 同 居 家 族	未就学児	210	92 43.8	153 72.9	59 28.1	51 24.3	8 3.8	3 1.4
	小学生	96	43 44.8	58 60.4	39 40.6	18 18.8	2 2.1	1 1.0
	中学生	43	17 39.5	28 65.1	16 37.2	13 30.2	0 0.0	1 2.3
	中学生以下はいない	501	225 44.9	338 67.5	183 36.5	53 10.6	14 2.8	17 3.4

小学校区別では、築山では「児童・生徒の通学とその安全（時間・距離・方法）」及び「適正な児童数・学級数の確保」が同率で最も高く、それ以外の小学校区では「児童・生徒の通学とその安全（時間・距離・方法）」が最も高い。

(上段:件数、下段:%)

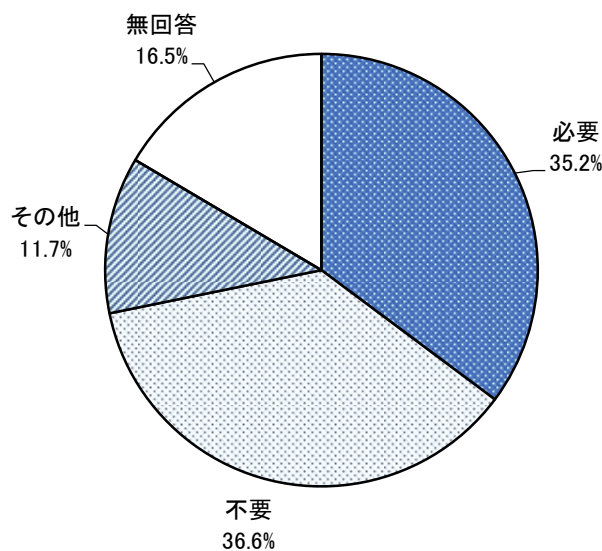
	回答数	学適正な児童数の確保	その児童・生徒の通学と距離・方法（時間・距離）	間の推進（小中一貫教育）	小学校・中学校・高等学校の充実	校舎等の施設の充実	その他	無回答
全体	855	378 44.2	579 67.7	300 35.1	136 15.9	24 2.8	23 2.7	
小学校区	玉名町	68 47.1	32 69.1	47 32.4	22 17.6	12 1.5	1 1.5	
	築山	69 58.0	40 58.0	40 27.5	19 23.2	16 5.8	0 0.0	
	滑石	56 39.3	22 78.6	44 35.7	20 12.5	7 3.6	1 1.8	
	八嘉	52 36.5	19 73.1	38 34.6	18 19.2	10 1.9	1 3.8	
	伊倉	51 45.1	23 64.7	33 31.4	16 17.6	9 0.0	0 2.0	
	玉陵	52 44.2	23 73.1	38 32.7	17 25.0	13 3.8	2 1.9	
	大浜	58 34.5	20 63.8	37 39.7	23 13.8	8 1.7	1 5.2	
	豊水	65 46.2	30 58.5	38 40.0	26 12.3	8 6.2	4 3.1	
	横島	58 39.7	23 58.6	34 32.8	19 22.4	13 5.2	3 3.4	
	大野	47 40.4	19 76.6	36 38.3	18 21.3	10 4.3	2 0.0	
	睦合	58 50.0	29 74.1	43 34.5	20 8.6	5 0.0	0 1.7	
	鍋	60 36.7	22 73.3	44 33.3	20 10.0	6 0.0	0 5.0	
	高道	55 47.3	26 67.3	37 25.5	14 16.4	9 1.8	1 9.1	
	玉水	44 52.3	23 65.9	29 50.0	22 11.4	5 0.0	0 0.0	
	小天	55 45.5	25 67.3	37 43.6	24 7.3	4 3.6	2 1.8	

## 2-5 中学校校区をまたぐ小学校再編について

問 16 現在の小学校再編は、玉名市内の中学校区の通学区内で行っています。学校再編にあたり、中学校の通学区の見直しは必要だと思いますか。【1つに○】

「必要」が35.2%、「不要」が36.6%であり、ほぼ同程度となっている。なお、「その他」と回答があった83件のうち、「わからない」等の意見が43件を占めた。「わからない」等と回答した人の中には、中学校区を越える再編を全く想定しておらず、設問の意味を理解できなかったケースも考えられる。

(N = 855)



### <その他の主な意見>

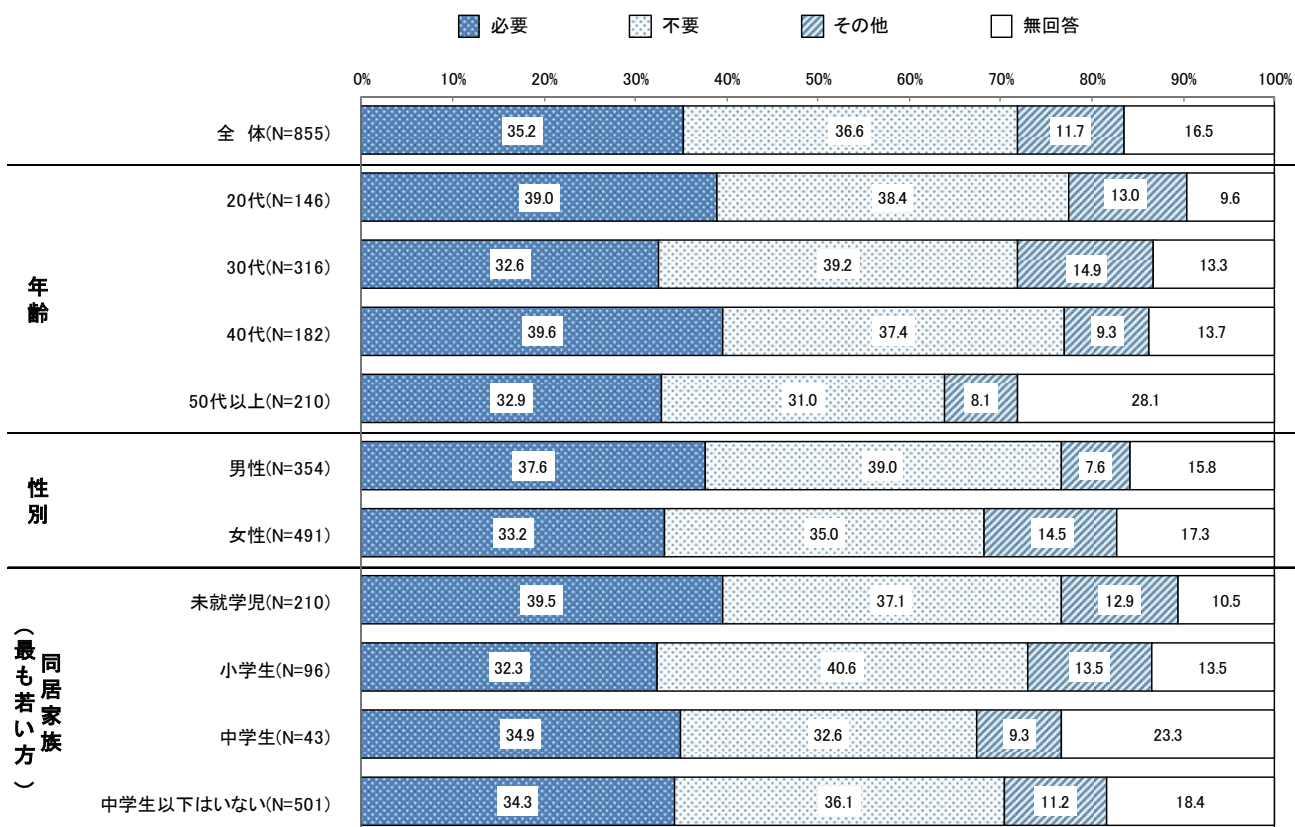
#### 意見数 82 件

- ・学校規模を適正化していく中で、地元の詳細が得られれば見直しが可能だと思う。
- ・問題の意味がよくわからない。
- ・特にありません。
- ・小学校再編について中学校の校区と合わせる必要は必ずしもないのではないかと考えられる。見直しが絶対に必要、不要とは考えないが、合わせる必要があり小学校再編を行うのであれば必要と考える。
- ・どちらでもいい。
- ・正直良く分かりませんが、子供達に支障（通学が長距離になる等）が出ることもあるなら必要かと思う。
- ・した方がいい区域もあれば、しなくてもいい区域もあるため。
- ・親の送迎は発生するかもしれないが、玉名市内の学校であれば希望する学校に通えるようにすべき。
- ・再編は必要だが、今まで通っている学校が変わることもあるため、そのあたりは慎重に判断して行ってほしい。
- ・玉名市内中心部は不要と思うが、天水や横島等は必要と思う。
- ・それぞれの区域の状況に応じて検討すべき。
- ・わからない。今後、さらに少子化が進むなら、必要かもしれないと思う。

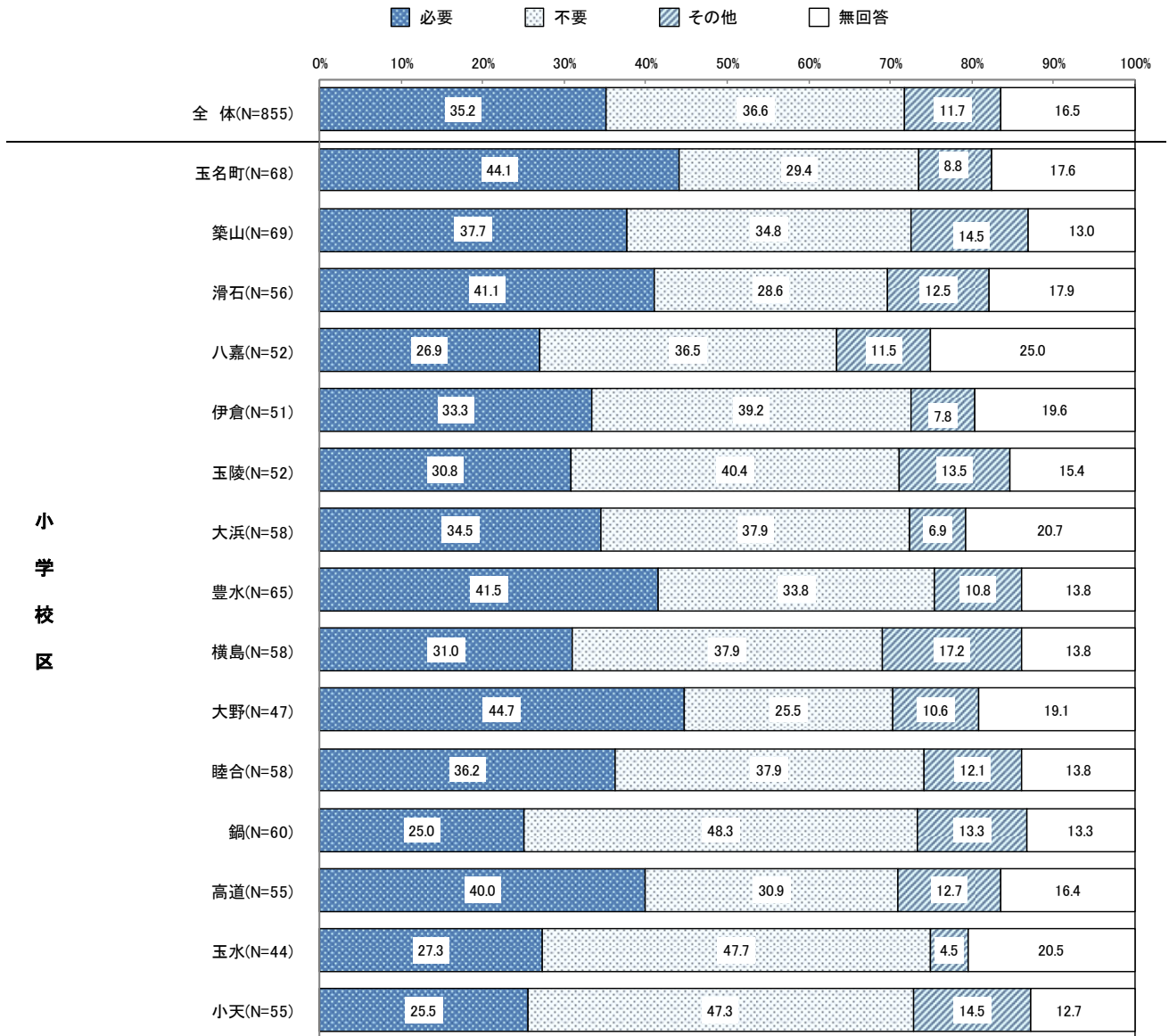
年齢別では、20代、40代、50代以上で「必要」が3割強から約4割を占め、「不要」を上回っているが、一方で「不要」もほぼ同程度となっている。30代では「不要」が約4割を占め、「必要」の3割強を上回っている。

性別では、男女ともに「不要」が「必要」を若干上回っているが、ほぼ同程度で顕著な差はうかがえない。

最も若い同居家族別では、未就学児、中学生で「必要」が「不要」を上回り、小学生、中学生以下はないで「不要」が「必要」を上回っているが、小学生以外の区分では、「必要」と「不要」はほぼ同程度となっている。



小学校区別では、玉名町、築山、滑石、豊水、大野、高道で「必要」が4割弱から4割半ばを占めて「不要」を上回り、八嘉、伊倉、玉陵、大浜、横島、睦合、鍋、玉水、小天では「不要」が3割半ばから5割弱を占めて「必要」を上回っている。なお、築山、大浜、睦合では「必要」と「不要」の差は5ポイント未満であり、ほぼ同程度となっている。



## 【「必要」と考える理由】

### <通学距離の見直し>

年齢	性別	必要な理由
20代	男性	中学校区に縛られて遠い小学校に通うより、近くの小学校に通った方がより安全で、保護者なども安心だと思うため。
20代	男性	滑石小学校区の子ども達が玉名中学校へ進学するなどの距離に応じた再編が必要と思うため。
20代	男性	距離。
20代	男性	合併することで学校から家までの距離が遠くなる児童もいたり、区域内だとしても別の学校への距離が近くなる児童もいる可能性があると思うため。
20代	女性	実際の距離が近い方の中学校に通えるように、通学区域を考えたことが必要だと思う。
20代	女性	家から近い学校に通学してもよいと思う。区域によっては、学校から家まで遠い生徒もいると思う。
20代	女性	通学距離や、安全性を考慮して、再編すべきかと思う。滑石小学校区の児童が自転車で玉名中学校まで登下校するのは危険も多いのではと思う。
20代	女性	通いにくいなどの問題が出てきそう。
20代	女性	校区内の一番端に住んでいる生徒がいる(例:A区が一番端に住んでいるが、B区の学校へ通学できないなど)。
20代	女性	滑石は岱明の方が近い。人数的にも玉中より岱明の方が少ないため。
20代	女性	学校までの距離に合理性があったほうがよい。
20代	女性	家の近くに中学校があるのに通学区域だからと距離のある中学校に入学しなければならないことがあるため。
20代	女性	適正距離での通学ができると思うため。
20代	女性	大野小が目前に見えているのに、住所が岱明町ではないから築山小に通っている子がいてかわいそう。同じ玉名市なのだから距離が近いところに通えるようにしてほしい。
30代	男性	例えば桃田は豊水が近いのに玉名町小学校区となるのはおかしいと思う。少しでも近い小学校・中学校へ通うべき。
30代	男性	地区によっては、別の中学校区の方が近い。
30代	男性	逆に遠くなることもある。
30代	男性	それぞれ最寄りの学校に通学するのが、最も望ましいと思うため。
30代	男性	玉名市内であれば近い中学校区への通学を考えても良いのでは。中学校だけではなく小学校も。
30代	男性	通学距離が適正かどうか。
30代	男性	通学距離と規模のバランスをとる観点から。
30代	男性	子どもの意見も必要ですが、大人としては、区外でも近い方に通った方が子どもにとっては楽だと思う。しかし、区外から来ているからと、いじめに遭わないかと心配ではある。
30代	男性	今の通学区域より近い学校がある。生徒数の偏り。
30代	男性	玉名中校区内の滑石小からは通学距離が遠いと思われる。有明中または岱明中に見直すことにより、通学距離が約半分となり、通学時の危険も減少すると思う。
30代	女性	通学距離も再編要素としてよいのではないかと。近くに学校があるのに、通学区に縛られて遠いところに通うのも少し考えものだと思う。
30代	女性	1市3町で合併したのに特に学校再編が上手くないと思う。例えば、滑石校区は玉名市立中学校に行くより岱明中の方が近いのでわざわざ玉名中に行く必要がない。このように通学できる範囲を基にもう少し見直しできる部分はあると思う。
30代	女性	距離が近い学校に行くべき。
30代	女性	地区によっては指定された学校の方が遠いことがあるため。
30代	女性	距離と安全面は絶対に重要。
30代	女性	自宅から近い学校を選ぶことができると通学時の心配が少なくなるのではないかと。
30代	女性	通学区域がギリギリの子は近い中学校に通ってもよいと思うため。
30代	女性	今までの校区にこだわらず、近いところに行けた方がよい。
30代	女性	滑石校区から玉中は遠いため。
30代	女性	市内での中学校の人数の偏りが大きいと思う。通学のことを考えて距離を見直してほしい。
30代	女性	例えば滑石校区から玉中までは遠いと思うため、有明中または岱明中など、自由に選択できればよいと思う。
30代	女性	中学までの距離。遠すぎると思うため。
30代	女性	通学のしやすさや人数等、中学校区を考えずに再編していてもよいと思う。
30代	女性	滑石から玉名中学校区は遠すぎる。
30代	女性	明らかに遠くなる場合は、中学校の通学区域の見直しが必要だと思う。
30代	女性	滑石は、玉中より有明中や、岱明の方が近いと思う。
30代	女性	小学校の再編をするのであれば、通学の距離や通学方法を一緒に考える必要があると思う。人によって学校までの距離がかなり変わってくると思うため。
30代	女性	通学の時間や距離が長くなる子が出てくるだろうし、通学路の安全確保がきちんと出来るかなどを見た方がよいと思うため。
40代	男性	校内区にすると、自宅から遠くの場合に通学する場合もある。自宅からの距離優先の方がよい場合がある。
40代	男性	遠い。
40代	男性	滑石小学校→有明中。
40代	男性	通学の距離、児童数、学級数の確保等を優先してほしいため。数十年も前に作られた通学区域に縛られることなく、再編を進め、先生たちが働きやすくなるのが、子どもたちの幸せにつながると思う。
40代	男性	滑石校区は、有明中にした方が登校しやすいのではないかと。通学距離の見直し。
40代	女性	一部の地域で人口の増加傾向が見られるため、市全体で生徒数に偏りが生じている。通学時間・距離を考慮した上での見直しが必要だと思う。
40代	女性	遠い人がいる。
40代	女性	再編により、他の中学校校区への通学の方が近くなることもあり得るため。スクールバスで通うより、徒歩で体力を補ってほしい。
40代	女性	通学時間や距離は考慮する必要があると思うため。また、人数等も考慮してよいと思う。
40代	女性	通学区域の見直し。
40代	女性	距離等で、変更すればよい。
50代以上	男性	他中学校へも入学出来ればよい。住居によっては隣接校区への入学があってもよいのでは。
50代以上	男性	通学時間。
50代以上	男性	小学校の再編を基本に、中学校区や通学距離等も考慮してよいのではないかと。
50代以上	男性	各地区によっては、ほかの中学校の方がよい場合もありうる。
50代以上	男性	居住地からより遠い小中学校に徒歩で通学する生徒がいる。柔軟に対応すべきだと思う。
50代以上	男性	中学校の通学区域にこだわると、通学距離が長くなる。
50代以上	男性	自転車で通学していても距離がかなりある生徒もいるため。

年齢	性別	必要な理由
50代以上	女性	かなり遠方からの通学もあるため。
50代以上	女性	滑石地区の子どもたちの、中学校までの通学距離が長いと思う。冬場は危険ではないか。
50代以上	女性	玉中一校への集中及び遠隔通学。
50代以上	女性	通学距離を反映させる。
50代以上	女性	小学生低学年に負担をかけない距離が必要。

< 通学距離の見直し（中学校の変更） >

年齢	性別	必要な理由
20代	男性	適正な児童数・生徒数の確保が必要だと思うため(個人的には滑石小→有明中、豊水小→玉南中でもよいのではと思う)。
20代	男性	滑石、西築地一岱明中学校。
20代	女性	現在、滑石は玉中だが遠すぎる。岱明、有明が近い。その分、時間を他に使えると思う。
30代	男性	近い中学校へ通学するべきだと考える(例:滑石小→玉名中ではなく、岱明中や有明中)。
30代	女性	滑石は有明中学校区の方が望ましいと思う。
30代	女性	滑石から、玉名中学校は遠すぎる。
50代以上	男性	現在、滑石小→玉名中へ進学しているが、滑石小は岱明中校区や有明中校区が近いので、個人に選択を任せる。
50代以上	男性	例)滑石→玉中はおかしい。有明中が近い。

< 適正な生徒数の確保 >

年齢	性別	必要な理由
20代	男性	1つの中学に人数が集中しないようにする。
20代	男性	学校再編にあたり、充分な児童を確保できれば通学区域の見直しは必要。
20代	女性	クラス数が少ないため。
20代	女性	どちらでもよい。児童数等支障や偏りが出るのであれば検討する必要があると思う。
20代	女性	区域によっては、子どもの人数が変わってくるため。
20代	女性	玉名町小や築山小に児童数が集中しすぎているため、もう少しばらつきがあるようにした方がよい。その代わり無料でスクールバスを。
30代	男性	子供の数と通学路に応じて変えるべき。
30代	男性	区域ごとに人数が異なるため。
30代	男性	多人数のクラス編成となると行事一つにしても密になる。通学距離に差がでる。
30代	男性	人数確保のため。隣の中学校の方が近いなど距離の問題。行きたい中学校を選べるなど。
30代	女性	学級が少ない学校の子には、多くの児童との交流と集団行動は必要だと思う。
30代	女性	地域によって子供の人数が異なるため、現在の対応だと子供の人数にばらつきが見られると考えられるため。
30代	女性	中心部に偏りが出てしまう気がするため、人数バランス・距離・学習(教育)進捗等のトータルバランスがとれれば良いと思う。
30代	女性	1クラスに20人くらいはいた方がよいと思う。
30代	女性	中学校区だけでは、少ない人数の学校もあると思う。
30代	女性	ある程度の人数やクラス替えがあることにより、より切磋琢磨できると思う。人口減少による見直しは必要。
40代	女性	2クラス作るために児童が足りなければ見直しが必要。
40代	女性	人数が少ない学校と多い学校の差が大きすぎる。
40代	女性	地域によって子どもの人口にばらつきがあるため、ある程度先を見据えて再編する必要があると思う。
40代	女性	玉名中にばかり生徒が集中しているため、再編する必要があると思う。
40代	女性	中学校区によっては児童数が極端に少ないところもあるようなので、見直した方がよいと思う。
40代	女性	生徒数が減少傾向にある今、致し方ないと思う。学校によって全生徒の数が極端に違うのは好ましくない。
50代以上	男性	現行のままだと、中学校間で極端な不均衡(生徒数、通学距離)が生じる。
50代以上	男性	生徒の人数で見直すことも必要。
50代以上	男性	学年の人数が増えることで、競争力があがると思う。
50代以上	男性	生徒数の減少に応じた通学区域の見直し。
50代以上	男性	小学校の再編によって中学校の生徒数に偏りがでないようにするため。
50代以上	男性	通学距離よりも学級数を少しでも増やし、子どもの社会性を育ていけるような再編がよいと思う。
50代以上	女性	生徒の減少化で区域を広げれば人数が増すのではないかと。スクールバスが必要になる。
50代以上	女性	適正な生徒数を確保するため。

< 登下校の安全面 >

年齢	性別	必要な理由
20代	男性	通学路の安全を考えた場合、ある程度の集団は必要だと思う。
20代	男性	車が少ない道を通学路とするようにする。
20代	男性	今まで小学校に近かった子どもが、再編にあたり遠くなると安全面が心配。
20代	女性	学校から近い子の親は安心かもしれないが、遠い子の親は冬の下校は暗くなるので心配になると思う。スクールバスを小・中で出すと安心できて、親の送迎をする手も減らせると思う。
20代	女性	少しずつ住宅も増え、灯りがあるが、まだまだ街灯が足りないところもあるため通学路の見直しをしてほしい。ゴルフ練習場を下ったバイパスに入る道路のところは信号を付けてほしい。
30代	男性	道路が新しくなり、交通環境は変化している。また、災害も多くなっているため、見直す必要があると感じる。
30代	男性	自転車通学は危ない上、雨の日などはかわいそう。
30代	男性	通学の安全のため、近い中学校も希望できるようにする。
30代	男性	子どもたちの安全確保。安全に通行できる環境は必要なため。
30代	女性	通学に危険性の高い道路を避けるために必要。
30代	女性	通学区域の見直しをすることで、危険な場所などが改めて分かるかもしれないため。
30代	女性	中学校の通学区域に関係なく、距離や安全な通学を考慮して再編していくとよいと思う。
40代	男性	登下校の安全のため。
40代	男性	子どもたちが安全に通学しやすい環境をつくるため。

年齢	性別	必要な理由
40代	女性	治安が悪い環境(街灯が少ない、空家・空地が多い、変質者が出る等)の中、登下校させるのは危険である。自宅から近い方がよいし、各家庭により事情もあるため、希望を聞き入れるべきだと思う。
40代	女性	通学路の安全確保を考え、距離についてもあまり遠いと歩いている通学が大変になるため。
50代以上	男性	人通りが少ない場所や危険な場所等々。
50代以上	男性	滑石小が玉中へ通学している。交通量も多い通学路を通るうえ、玉中は生徒数も多いため、他の地区への見直しをすべき。
50代以上	男性	地域により通学路の安全確保・時間等も考慮した方がよい。
50代以上	女性	交通事故のこともあり、最も近い中学を選べるようにする。
50代以上	女性	安全、距離、関係性。
50代以上	女性	災害にも安全な場所がよいと思う。

### <希望する中学校への通学>

年齢	性別	必要な理由
20代	女性	「玉名中学校に行きたいから」という理由で引っ越しをした同級生がいたため。
30代	男性	本人の希望する学校へ行くのがよいと思う。
30代	女性	部活の強いところなど、別の中学に行きたい子もいるため。
40代	男性	部活の有無、距離、本人の希望など考慮してもら。ある程度の選択肢も必要だと思う。
40代	男性	希望する学校を住民が選べるようになるとよいと思う。
40代	女性	見直しというより、校区境界あたりの子が柔軟に学校を選べるとよいと思う。
40代	女性	スポーツにより行きたい学校を決めてよいのではと思う。いじめの問題についても、選ぶことができれば登校拒否が減るかもしれない。
40代	女性	通学の距離や各家庭の事情から、選択する権利があってもよいのではないかと思う(例えば滑石小学区の児童の中で有明中の方が近い子など)。
50代以上	男性	例として、私の当時の自宅は旧天水町の最北部に位置しており、天水中まで5km、伊倉小、玉東中は半分以下の距離であった。旧市町の境界の集落はこのようなどころがあちこちにあるかもしれない。保護者と本人が希望するなら通学させてもよいと思う。

### <少子化のためやむを得ない>

年齢	性別	必要な理由
30代	男性	近年、少子化が進み、学校の数に対して、子どもの数が少なすぎる、やむを得ないことだと思う。子どものためを思う再編をしてほしい。
30代	女性	少子化は避けられないし、今後さらに児童数が減少することを考えると、長期的は中学校校区をまたぐ再編は仕方ないので、早めに取り組むべき。
40代	男性	今後も少子化は進んでいくため、見直しは必要。必要に応じて、自転車通学やスクールバスを活用する。
40代	女性	児童・生徒数減少のため。
40代	答えたくない	子どもの減少。
50代以上	男性	少子化のためやむを得ない。
50代以上	男性	生徒数が減少すれば、中学校の通学区域の見直しは必要だと考える。
50代以上	男性	子どもの数が少なくなり、地域により子どもの数の多寡があるため。
50代以上	男性	子どもが少なくなるためやむを得ない。
50代以上	答えたくない	少子化。

### <見直しは仕方がない・した方がよい>

年齢	性別	必要な理由
20代	男性	しないよりはした方がよいと思う。
30代	男性	見直すことでよりよい再編ができる地域があるのであれば、今までの通学区域にこだわる必要はないと思うため。
30代	女性	中学校の数の少ないため見直しは仕方ないと思う。
40代	男性	新しく様々な方向から見直すことは必要だと思う。
40代	女性	小学校の人数等で、括りが変われば、中学校の通学区域も変わるのには仕方ない。

### <同じ中学校に進めるように>

年齢	性別	必要な理由
40代	男性	中学校までは、地元の中学に行くべき。幼い頃の友は、特に大事であるため。
40代	男性	小学校と中学校で同じ友達と学べる方が仲間意識やいじめ対策にもつながる。
40代	男性	小学校からの同級生が同じ中学の方が生徒の環境によいため。
50代以上	男性	同一小学校で同一中学校へ進めるように。

### <小学校が再編されるのであれば中学校も見直すべき>

年齢	性別	必要な理由
20代	女性	小学校を再編することで、1つの中学校に子供が偏ってしまう可能性がある。
30代	女性	小学校が再編されるのであれば中学校も見直すべき。
30代	女性	再編により、通学時間や距離が小学生には無理が生じる場合もあると思うため、場合によっては中学校の通学区域も必要となると思う。
40代	男性	通学手段の確保、再編をするのであれば、中学校も含めて検討すべき。二度手間になるので全体を見て検討してほしい。



<自転車通学が全体的に可能であれば必要>

年齢	性別	必要な理由
30代	答えたくない	距離で自転車通学を認める。
50代以上	女性	自転車通学が全体的に可能であれば必要である。体力的に少しの遠距離通学はよいのではないかと思う。
50代以上	女性	自転車通学にし、ある程度まで校区を広げる。

<小中一貫教育の推進>

年齢	性別	必要な理由
50代以上	男性	小中一貫教育の推進をさらに進めるべき。
50代以上	男性	滑石小の卒業生が玉名中学校まで通学しているのを見ていると、通学が大変だと思う。有明中学が小中一貫校になり、滑石からも通学出来るようには出来ないか。
50代以上	女性	小規模校より小中一貫に賛成する。広い範囲が縮小されコストダウンにもなる。これから先、子どもが減少し、建物が残るばかり。

<その他>

年齢	性別	必要な理由
20代	男性	小学校と中学校の問題はセットで考える必要があると思うため。もっと言えば高校も。新型コロナウイルスの蔓延によりリモートワークやオンライン授業などが確立しつつある。玉名市の教育現場も大きな変化が必要。
20代	女性	少ない生徒数の学校の児童が、生徒数の多い学校の児童の中で学ぶのは、馴染むのが難しかったり心のケアが必要になることがあるため見直しは必要である。
20代	女性	中学校になると自転車通学となる。この場合、距離があると、困難であると思う。
20代	女性	最近、バスケットをしたいから、玉南中ではなく、明中玉中に入学する生徒が増えたと聞いた。玉南中にバスケット部があるのになぜ校区外に入学するのか疑問に思う。指導者の問題なのか。生徒数が少ないのにますます少なくなる。どうにか出来ないか。
30代	男性	更に児童数が減少した時に再々編になったら手間がかかるため。
30代	男性	中学校区内での再編だけでは、偏りがみられる校区がある。自然災害や生活の利便性を求めて、玉名中学校区内に子どもが集まっている現状があるため、区域に捉われない再編が必要。
30代	男性	地域のクラブ活動を中学校でも継続したいと思ってもできない学校もある。選択肢が広がる。
30代	女性	少人数の小学校から大人数の(他の小学校が大人数)中学校への移行は、少人数の小学校(例えば滑石小)の児童の精神的不安が大きい。
30代	女性	同じような近くの地域が合併した方が安心なため。
30代	女性	将来を見越して。
30代	女性	再編方法によっては必要になるのではと思う。
40代	男性	常に今の社会を見直して、今の時代に適切なやり方にしてほしい。
40代	男性	近い小学校同士での再編でもよいのではと思う。
40代	女性	高瀬地区は、玉陵中学校区に含めてもよいと思う。
40代	女性	小学生は中学生に会いたくない。
40代	女性	自転車で30分以上、通学時間がかかる子どももいるため、スクールバスを検討してほしい。
40代	答えたくない	中学までは地元へという考えがあるため。家から通える範囲は希望する。
50代以上	男性	児童数が増加する地域、減少する地域が、ますます鮮明となっていくことが予測される中、過去の枠組みに固執することは、将来に大きな禍根を残すことになる。子ども達の未来のために先手先手の対策を実行すべきである。
50代以上	男性	今後、地域ごとの人口のばらつきが発生する。

## 【「不要」と考える理由】

### <現状のままでよい>

年齢	性別	不要な理由
20代	男性	現状問題なし。
20代	男性	子供が未就学のため、現時点では特に必要性を感じていない。
20代	男性	今のままでよいと思う。高校は遠くから来てもよいと思うが、中学校までは自分の知っている友達が多い方がよい。
20代	女性	中学からは受験して地元の中学に行かないこともできるので必要ないと思う。
20代	女性	現在の中学校の通学区域で充分だと思つたため。
30代	男性	特に不便を感じないため。
30代	男性	通学距離を考えると現状が妥当。
30代	男性	現状の通学区域で問題ない。
30代	男性	必要だと思わない。
30代	女性	現状のままでよい。
30代	女性	親のつながりが薄く、地域性などもあるため、今のままがよい。
30代	女性	適度な位置に学校があり必要性を感じない(遠い人もいるが再編の対象が市外になるので遠くても仕方ない)。
30代	女性	今のままで良いと思う。
30代	女性	今までも十分な検討をされていると思つたため。
30代	女性	小中一貫教育については、例えば玉中に行きたいという子もいるため、今のままでよいと思う。
30代	女性	現時点で通学距離等に問題が無ければ見直す必要はないと思つたため(自転車通学が可能のため)。
40代	男性	今のままで良いと思う。
40代	男性	現時点ではそこまでせずとも適正な児童数を実現できると思つたため。
40代	女性	現時点で問題と感じないため。
40代	女性	小学校は、生徒数が少なくなって複式学級などがあるため再編が必要だろうが、中学校は必要ないと感じる。
40代	女性	現状のままでよい。
40代	女性	特に不便な思いはしていないため。
40代	女性	一定の集団規模が確保されていると思つたため。
50代以上	男性	現在の方針でどのような課題があるか不明。とりあえずやってみて、問題があれば対応すればよい。
50代以上	男性	現在のままで良い。通学区域の見直しはもう少し先でよいと思う。
50代以上	男性	現状のままで良い。一クラスの人数を減らすことによって、質の高い教育ができる。児童数が減っても教員を減らさないように。
50代以上	男性	現在の校区割がベストではないか。
50代以上	女性	現状の編成でよいと思う(中学校区内)。
50代以上	女性	現在の事由に準ずる。
50代以上	女性	現状が適切だと思つたため。

### <地域性を重視するため>

年齢	性別	不要な理由
30代	男性	地域のつながりが学校教育に生かされないため。
30代	男性	地域性と多様性の観点から。
30代	女性	地域の特色が失われる。
30代	女性	地域性を重視する。
30代	女性	同じ町民と触れ合う時間は、学生時代にしかないため。
40代	女性	地域性の問題。
40代	女性	旧岱明町で、昔からの繋がりがある。
50代以上	男性	長い歴史の中で培った地域性がある。
50代以上	男性	地域性や通学距離を考える必要があると思われるため。
50代以上	男性	地域のことを考えた場合、通学区内がよいと思う。

### <小学校・中学校は同じ区域とするべき>

年齢	性別	不要な理由
20代	男性	小学校卒業後中学校に通うことになるから。
20代	女性	中学生になってもスムーズに環境に適応しやすいため。
30代	男性	小学校と中学校は近くにあった方がよい。
30代	男性	小学校、中学校が同じ場所にある。
30代	男性	小中を通しての人間関係作りのため。
30代	男性	同じ小学校の友達が同じ中学校に行った方がよいと思う。
30代	女性	小学校と中学校は同じ区域内にするべき。少数の地区の子ども達が違う区域の中学校に行くのは心細いと思う。
40代	男性	小学校区、中学校区のコミュニティとの関わりが大事であるため。

### <安全面への不安>

年齢	性別	不要な理由
20代	男性	通学路の安全、通学の時間を考えて。
20代	男性	中学校までは義務教育である限り、安全に徒歩や自転車で通学できる範囲で学区を決定してほしいと思う。
20代	女性	再編されることで通学距離が伸び、通学の際の危険性が増すため。
30代	男性	あまり広範囲になると安全性が心配なため。
30代	女性	通学路に人気がある方がよい。
30代	女性	通学区域を見直すことにより、通学の時間が伸びたり、安全確保が難しくなったりする可能性があるため。
40代	男性	通学の時間、安全確保が困難である。

<通学距離が長くなる>

年齢	性別	不要な理由
20代	男性	天水は特に玉名市内と離れすぎている。
20代	女性	生徒が自転車通勤できる距離を。生徒たちに無理をさせたらおかしい。
30代	男性	通学できる距離であるため。
30代	女性	広範囲になりすぎるから。
40代	女性	通学路の距離が長くなりすぎるため。
50代以上	女性	通学時間が長くなるため。

<中学校区内で再編すべき>

年齢	性別	不要な理由
20代	男性	中学校校区単位でしてほしい。旧町は1つの区切りでほしい。
50代以上	男性	区の認識をわかってほしい。広すぎると、子どもの交友範囲が広すぎて、時間がルーズになってしまうか危惧している。
50代以上	女性	校区内での再編が適正だと思う。
50代以上	女性	中学校区内での小学校再編を行ってほしい。
50代以上	女性	各中学校の区画が親しみがあってよいと思う。

<複雑である>

年齢	性別	不要な理由
30代	女性	見直すことで余計に学校再編に時間がかかってしまいそう。
40代	男性	ややこしい。
40代	女性	兄弟(姉妹)がいる場合、上の子と下の子で変わるの都合が悪い。途中で転校となるのも、どうかと思う。
40代	女性	中学校区が違ってくると紛らわしい。

<小中一貫校の推進>

年齢	性別	不要な理由
30代	女性	小中一貫教育を推進することで教育の質を高められると思うため。
50代以上	男性	小中連携が各中学校区ですでに進められていて、かなりの成果も上がっているため。
50代以上	男性	地域のまとまりや地域性を生かして、小中一貫教育を推進するのに都合がよい。
50代以上	女性	小中学校一貫で同じ学校に通学。

<希望する中学校へ通学すればよい>

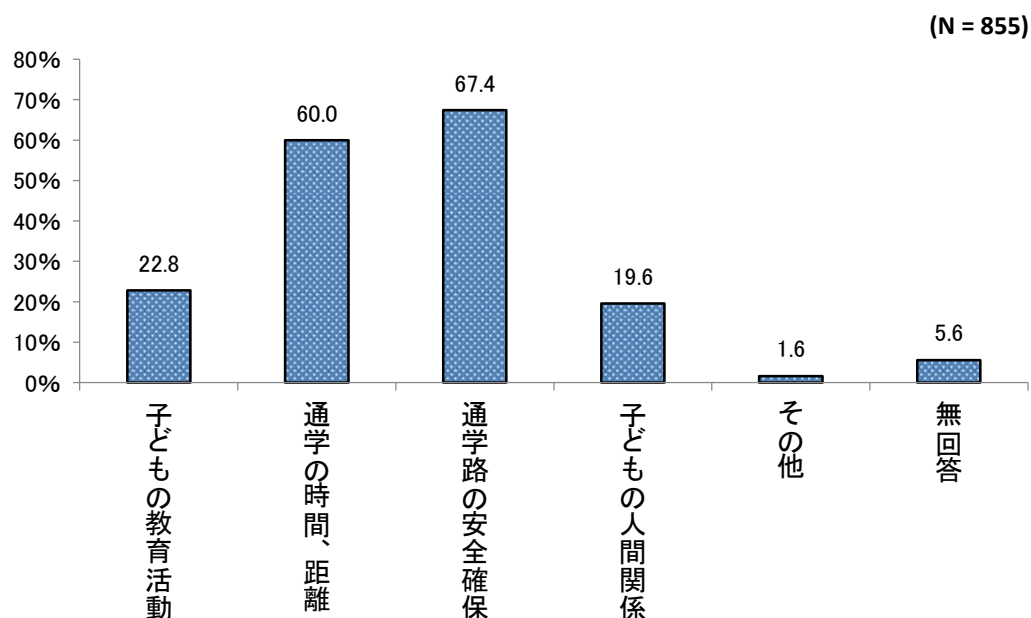
年齢	性別	不要な理由
20代	男性	今は行きたい中学を選べるから。
30代	男性	行きたい学校に行けばよいと思う。
30代	男性	以前からそうであったため。部活で他の通学区の子も入れている。
40代	答えない	現在でも自宅から学校の距離関係なく、本人や家族が小学校を選んでいるように思う。

<その他>

年齢	性別	不要な理由
20代	女性	様々なことを突然変えると大変なので、少しずつお願いしたい。
30代	男性	自転車を許容しているため。
30代	男性	まずは小学校の方が大事であるため。
30代	男性	少子化。ベストを尽くすため何でもすべきだと思う。
30代	男性	本腰を入れて再編するのであれば、必要だろうが、じっくりと考え進めていく必要があり、結果ありきの再編でそこまでやるのはリスクだと感じる。
30代	女性	中学校の数は減らして欲しくない。部活等の対外試合なども減ってしまう。
30代	女性	中学校まで遠いが母校に通わせたい。
30代	女性	中学校になると自転車通学になり、親が車送迎する子もいる。
40代	女性	子ども達だけで一緒に遊んだり出来る範囲での小学校区域がよいのではと感ずるため。
40代	女性	前回策定した計画どおりでよいと思う。
40代	女性	同じ区域の中学校に上がるため。
40代	女性	遠くの校区だと友人と遊べなくなる。
50代以上	男性	学校がなくなれば地区は発展していかない。
50代以上	男性	中学校の通学区域の見直しは小学校再編が終了後でよい。
50代以上	女性	将来はどうなるか分からないが、あまりに再編を進めると地区に学校がなくなる。学校がなくなるとそこはますます過疎化が進む。やはり子どもの声なくなるのはいけないと思う。
50代以上	女性	スクールバスの利用ができればよいと思う。
50代以上	女性	見守りしている。

問 17 小学校の通学区域を見直す場合、配慮する必要があることは何だと思えますか。【〇は2つまで】

「通学路の安全確保」が 67.4%と最も高く、次いで「通学の時間、距離」が 60.0%、「子どもの教育活動」が 22.8%となっている。



<その他の主な意見>

意見数 12 件

- ・ 現在までの地区・通学区域のなりたち。
- ・ 地域が教育に参加する必要があるのではと考える。子どもの世界は大人の縮図。大人がいじめをしていれば子どももいじめを行うと思う。
- ・ 周辺（高齢者等）の雑音を気にせず、子どもの成長（玉名市の成長）に配慮する。
- ・ 親やその他の人の身勝手な意見は、聞かないこと。聞いたとしても毅然とした態度で、はっきりと答えること。
- ・ PTA や子ども会のあり方についての考え方や役員負担が同じようなところが良い（考え方があまりにも違うと、考え方を同じ方向にするのが難しい）。
- ・ 保護者の負担も考慮すべき。送迎などの必要性があるのであれば、困る人もいると思う。
- ・ 学校を住民が選べるような仕組みをつくる。
- ・ 地域との関係。
- ・ 地域的な問題。
- ・ 保護者、地域の方々への対応、交流。

年齢別では、すべての年齢層で「通学路の安全確保」が6割半ばから7割と最も高く、次いで「通学の時間、距離」が5～6割台となっている。

性別では、男女ともに「通学路の安全確保」が最も高く、次いで「通学の時間、距離」となっている。

最も若い同居家族別では、未就学児、中学生、中学生以下はないで「通学路の安全確保」が6割を超えて最も高く、小学生では「通学の時間、距離」が7割弱で最も高い。

(上段:件数、下段:%)

		回答数	子どもの教育活動	通学の時間、距離	通学路の安全確保	子どもの人間関係	その他	無回答
全体		855	195 22.8	513 60.0	576 67.4	168 19.6	14 1.6	48 5.6
年齢	20代	146	32 21.9	94 64.4	99 67.8	30 20.5	2 1.4	6 4.1
	30代	316	78 24.7	184 58.2	208 65.8	72 22.8	3 0.9	16 5.1
	40代	182	44 24.2	111 61.0	121 66.5	37 20.3	6 3.3	6 3.3
	50代以上	210	41 19.5	123 58.6	147 70.0	29 13.8	3 1.4	20 9.5
性別	男性	354	89 25.1	209 59.0	230 65.0	72 20.3	5 1.4	15 4.2
	女性	491	103 21.0	298 60.7	340 69.2	93 18.9	8 1.6	33 6.7
(最も若い同居家族方)	未就学児	210	45 21.4	133 63.3	150 71.4	51 24.3	2 1.0	5 2.4
	小学生	96	23 24.0	66 68.8	58 60.4	14 14.6	2 2.1	4 4.2
	中学生	43	15 34.9	25 58.1	27 62.8	5 11.6	0 0.0	5 11.6
	中学生以下はない	501	111 22.2	287 57.3	339 67.7	96 19.2	10 2.0	33 6.6

小学校区別では、築山、横島、睦合で「通学の時間、距離」が最も高く、小天では「通学路の安全確保」及び「通学の時間、距離」が同率で最も高くなった。それ以外の小学校区では、「通学路の安全確保」が最も高くなっている。

(上段:件数、下段:%)

		回答数	子どもの教育活動	通学の時間、距離	通学路の安全確保	子どもの人間関係	その他	無回答
全体		855	195 22.8	513 60.0	576 67.4	168 19.6	14 1.6	48 5.6
小学校区	玉名町	68	13 19.1	42 61.8	50 73.5	17 25.0	0 0.0	3 4.4
	築山	69	13 18.8	48 69.6	42 60.9	14 20.3	3 4.3	1 1.4
	滑石	56	11 19.6	37 66.1	38 67.9	12 21.4	1 1.8	2 3.6
	八嘉	52	13 25.0	27 51.9	39 75.0	8 15.4	0 0.0	4 7.7
	伊倉	51	13 25.5	33 64.7	34 66.7	7 13.7	0 0.0	3 5.9
	玉陵	52	10 19.2	34 65.4	38 73.1	12 23.1	2 3.8	2 3.8
	大浜	58	16 27.6	30 51.7	37 63.8	12 20.7	0 0.0	4 6.9
	豊水	65	12 18.5	37 56.9	46 70.8	13 20.0	1 1.5	3 4.6
	横島	58	15 25.9	37 63.8	36 62.1	10 17.2	1 1.7	1 1.7
	大野	47	9 19.1	29 61.7	37 78.7	6 12.8	1 2.1	3 6.4
	睦合	58	15 25.9	38 65.5	37 63.8	12 20.7	1 1.7	3 5.2
	鍋	60	13 21.7	34 56.7	38 63.3	16 26.7	1 1.7	3 5.0
	高道	55	12 21.8	29 52.7	38 69.1	9 16.4	1 1.8	7 12.7
	玉水	44	16 36.4	23 52.3	28 63.6	7 15.9	0 0.0	5 11.4
	小天	55	13 23.6	32 58.2	32 58.2	12 21.8	1 1.8	4 7.3

# 第3章 考察

## 3-1 玉名市立小・中学校の現状

玉名市では、平成24年に策定された玉名市学校規模・配置適正化基本計画に基づき、玉名中学校区以外の5つの中学校区においては、一小一中という校区を形成することを基本に、学校の再編を進めている。

同計画においては、以下の学校再編スケジュールを策定しており、これまでに③玉陵中校区と、⑥天水中校区の一部について、再編が実施済みとなっている（図表1～2）。

【図表1 学校再編スケジュール】

学校再編スケジュール	計画期間(平成24年度～33年度)									
	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
①玉名中校区(滑石小)										◆
②玉南中校区						◆	.....	▶		
③玉陵中校区		◆	.....	▶						
④有明中校区									◆	.....
⑤岱明中校区										◆
⑥天水中校区					◆	.....	▶			

参考：玉名市学校規模・配置適正化基本計画（平成24年）

【図表2 学校再編の進捗】

対象校区	進捗
玉陵中校区	平成30年4月に玉名小学校・石貫小学校・梅林小学校・小田小学校・三ツ川小学校・月瀬小学校の6校が統合し、玉陵小学校が開校した。 玉陵中学校との施設一体型の小中一貫教育校となり、一小一中体制となった。
天水中校区	令和2年4月に小天小学校と小天東小学校が統合した。 現在、天水中校区は小天小学校と玉水小学校の二小一中体制となっている。

こうした学校再編により、令和2年5月1日における玉名市内の小学校の学級数・児童数は図表3のとおりとなっている。

【図表3 玉名市内の小学校の学級数・児童数(令和2年5月1日時点)】

小学校名	中学校	学級数	児童数						学校計
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	
玉名町小学校	玉名	22	107	104	104	123	104	93	635
築山小学校		25	111	117	100	130	105	107	670
滑石小学校		9	9	12	22	23	19	20	105
八嘉小学校	玉南	8	18	20	25	18	19	22	122
伊倉小学校		8	30	19	30	25	36	19	159
玉陵小学校	玉陵	15	54	55	41	43	54	63	310
大浜小学校	有明	8	22	26	18	20	24	20	130
豊水小学校		8	15	3	7	10	10	12	57
横島小学校		12	37	35	46	34	45	58	255
大野小学校	岱明	10	41	43	39	30	36	26	215
睦合小学校		9	28	32	20	38	26	28	172
鍋小学校		8	14	18	19	25	21	26	123
高道小学校		9	32	22	29	31	22	32	168
玉水小学校	天水	7	20	24	18	18	20	19	119
小天小学校		8	22	21	25	22	18	26	134
計		166	560	551	543	590	559	571	3,374

参考：玉名市ホームページより

図表4は、図表3の各小学校の児童数及び学級数から算出した1学級当たりの児童数、及び各小学校の学級数から算出した1学年あたりの学級数である。ともに1学級当たりの児童数、1学年あたりの学級数が少ない順に並び替えている。

なお、全学年の児童数・学級数より算出しており、実際の1学級当たりの児童数の平均、1学年あたりの学級数の平均とは異なる点にはご留意いただきたい。

【図表4 玉名市内の小学校の1学級当たりの児童数・1学年あたりの学級数】

小学校名	中学校	1学級あたり 児童数
豊水小学校	(有明)	7.1
滑石小学校	(玉名)	11.7
八嘉小学校	(玉南)	15.3
鍋小学校	(岱明)	15.4
大浜小学校	(有明)	16.3
小天小学校	(天水)	16.8
玉水小学校	(天水)	17.0
高道小学校	(岱明)	18.7
睦合小学校	(岱明)	19.1
伊倉小学校	(玉南)	19.9
玉陵小学校	(玉陵)	20.7
横島小学校	(有明)	21.3
大野小学校	(岱明)	21.5
築山小学校	(玉名)	26.8
玉名町小学校	(玉名)	28.9

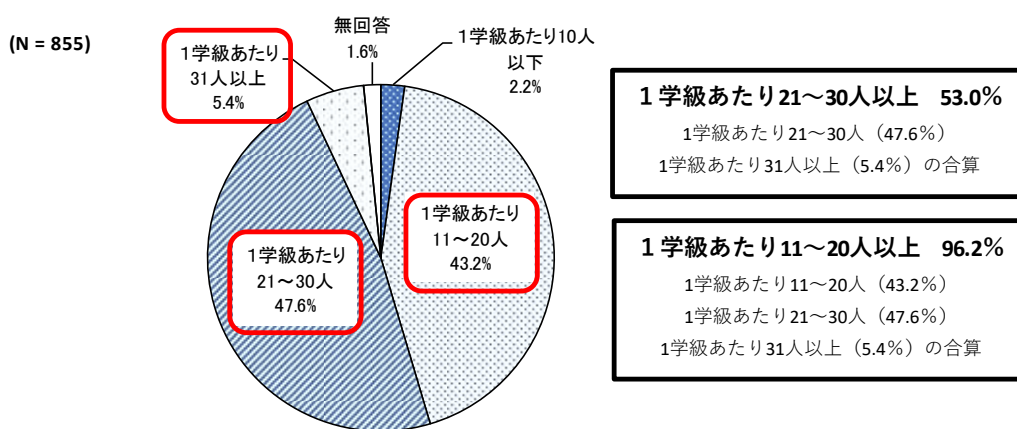
小学校名	中学校	1学年あたり 学級数
玉水小学校	(天水)	1.2
八嘉小学校	(玉南)	1.3
伊倉小学校	(玉南)	1.3
大浜小学校	(有明)	1.3
豊水小学校	(有明)	1.3
鍋小学校	(岱明)	1.3
小天小学校	(天水)	1.3
滑石小学校	(玉名)	1.5
睦合小学校	(岱明)	1.5
高道小学校	(岱明)	1.5
大野小学校	(岱明)	1.7
横島小学校	(有明)	2.0
玉陵小学校	(玉陵)	2.5
玉名町小学校	(玉名)	3.7
築山小学校	(玉名)	4.2



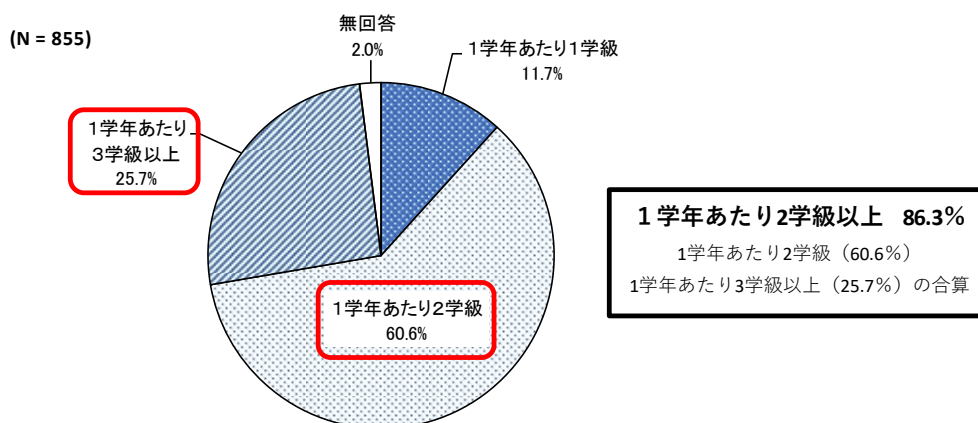
小学校の児童数は1学級あたり最低何人が必要だと思うか(問5)をみると、『1学級あたり21~30人以上』とする人が53.0%、『1学級あたり11~20人以上』とする人は96.2%を占めているが(図表5)、現在、『1学級あたり21~30人以上』の基準を満たしているのは、玉名町、築山、大野、横島の4校のみとなっている。一方、豊水については『1学級あたり11~20人以上』の基準を満たしておらず、滑石についても1学級あたりの児童数が11.7人と他に比べて少ない状況にある。

また、1学年あたりの学級数について、どの程度が望ましいか(問8)については、「1学年あたり2学級」が60.6%、「1学年あたり3学級以上」が25.7%と、『1学年あたり2学級以上』で86.3%を占めているが(図表6)、現在、この基準を満たしているのは、築山、玉名町、玉陵、横島の4校のみとなっている。

【図表5 1学級あたりの児童数は最低何人必要と思うか(問5)】



【図表6 1学年あたりの学級数はどの程度が望ましいか(問8)】



### 3-2 学校規模について

市民が望ましいと考える学校規模について、「1 学級当たりの児童数は最低何人必要と思うか（問 5）」と「1 学年あたりの学級数はどの程度が望ましいか（問 8）」の結果をもとに考察する。

図表 7 はこれらの回答結果をかけあわせた表である。（ ）内の比率は、全体の回答者数（855 名）をもとに算出している。

望ましいと考える学校規模については、『「1 学級あたり 11～20 人」が最低必要で、「1 学年あたり 2 学級」が望ましい』と考える人が全体の 29.2%と最も高く、次いで『「1 学級あたり 21～30 人」が最低必要で、「1 学年あたり 2 学級」が望ましい』と考える人が全体の 27.8%と続いている。

『「1 学級あたり 11～20 人以上」が必要で、「1 学年あたり 2 学級以上」が望ましい』と考える人は、全体の 84.6%と大半を占めている。

こうした結果から、「1 学級あたり 11～20 人以上」の学級を、「1 学年あたり 2 学級以上」作ることができる規模を前提に、学校再編を検討していく必要があると考える。

【図表 7 望ましいと考える学校規模(問 5×問 8)】

上段: 件数 下段: 総和(N=855)に対する比率		全 体	1 学年あたりの学級数はどの程度が望ましいか(問8)			
			1 1 学 学 級 年 あ 々 た 々 り 々 り	2 1 学 学 級 年 あ 々 た 々 り 々 り	3 1 学 学 級 年 あ 々 上 々 り 々 り	無 回 答
全 体		855	100	518	220	17
1 学級あたり 最低何人必要 と思うか (問 5)	1 学級あたり 10 人以下	19	7 (0.8%)	6 (0.7%)	5 (0.6%)	1
	1 学級あたり 11～20 人	369	54 (6.3%)	250 (29.2%)	64 (7.5%)	1
	1 学級あたり 21～30 人	407	38 (4.4%)	238 (27.8%)	127 (14.9%)	4
	1 学級あたり 31 人以上	46	1 (0.1%)	22 (2.6%)	22 (2.6%)	1
	無回答	14	0	2	2	10

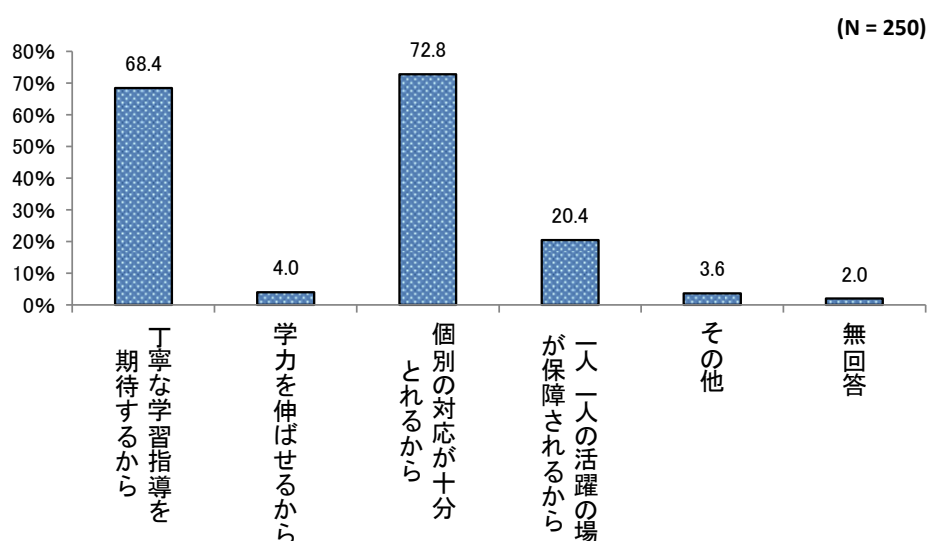
『「1 学級あたり 11～20 人以上」が必要で、  
「1 学年あたり 2 学級以上」が望ましい』  
84.6%

次に、図表7で割合の高かった『「1学級あたり11～20人」が最低必要で、「1学年あたり2学級」が望ましい』と考える人と、『「1学級あたり21～30人」が最低必要で、「1学年あたり2学級」が望ましい』と考える人が、それらの児童数・学級数を望ましいと考える理由についてみていく。

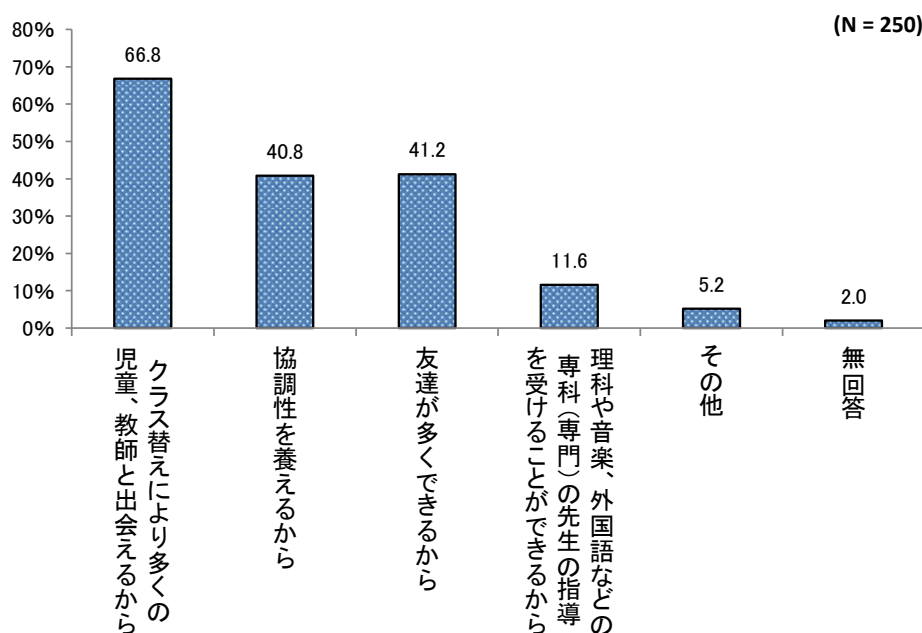
＜『「1学級あたり11～20人」が最低必要で、「1学年あたり2学級」が望ましい』と回答した場合＞

「1学級あたり11～20人」が最低必要と考える理由については、「個別の対応が十分とれるから」及び「丁寧な学習指導を期待するから」がともに7割程度となっている。また、「1学年あたり2学級」が望ましいと考える理由については、「クラス替えにより多くの児童、教師と出会えるから」が7割弱となっており、児童一人一人に向き合いながらも、多くの児童や教師に関われる点を望ましいとする意見が多い（図表8～9）。

【図表8 「1学級あたり11～20人」が最低必要と考える理由】



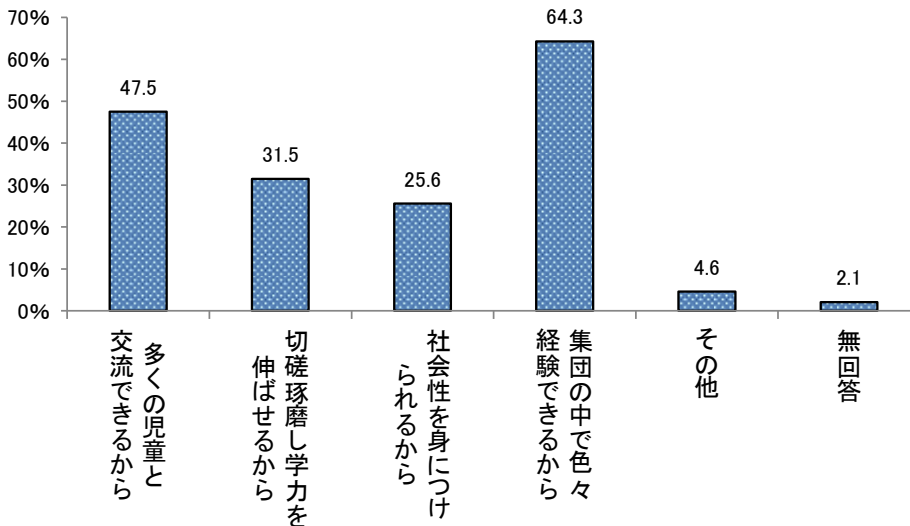
【図表9 「1学年あたり2学級」が望ましいと考える理由】



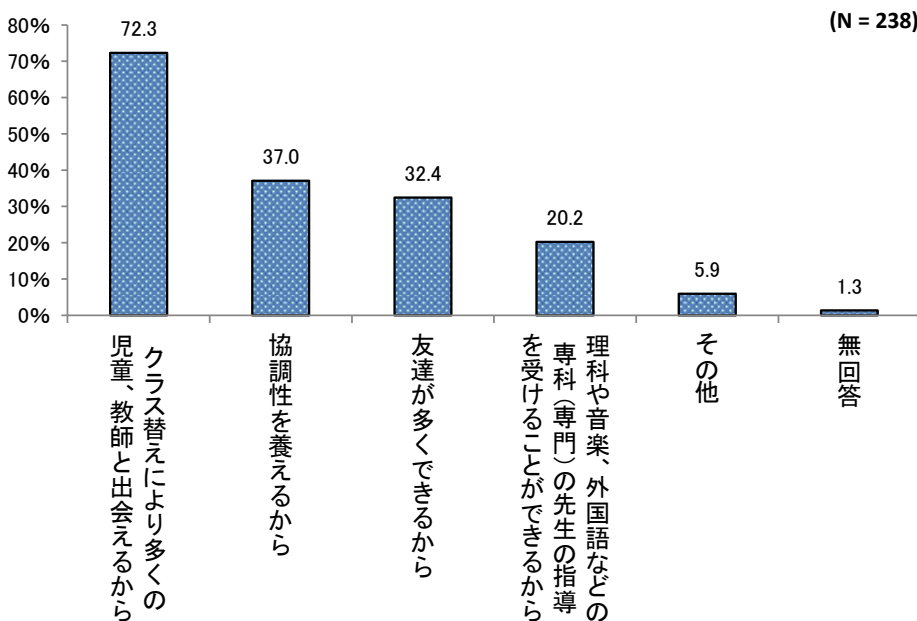
＜『1学級あたり21～30人』が最低必要で、『1学年あたり2学級』が望ましい』と回答した場合＞

「1学級あたり21～30人」が最低必要と考える理由については、「集団の中で色々経験できるから」が6割半ば、「1学年あたり2学級」が望ましいと考える理由については、「クラス替えにより多くの児童、教師と出会えるから」が7割強となっている。多くの児童や教師との交流・出会いを重視する点は『1学級あたり11～20人』が最低必要で、『1学年あたり2学級』が望ましい』と考える人と同様であるが、1学級あたりの児童数が多いことで、集団生活の経験ができる点や学級の中でも多くの児童と交流できる点を望ましいとする意見が多くみられた（図表10～11）。

【図表10 「1学級あたり21～30人」が最低必要と考える理由】 (N = 238)



【図表11 「1学年あたり2学級」が望ましいと考える理由】



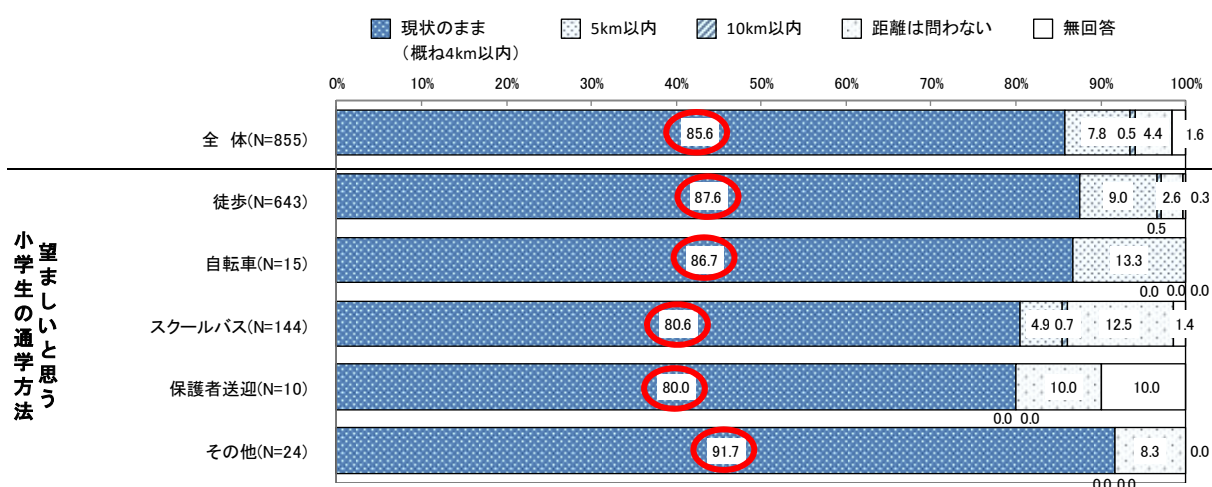
### 3-3 通学距離、バスの利用について

小学生の通学方法として、どのような方法が最も望ましいと考えるかについては、「徒歩」が75.2%と最も高く、7割半ばを占めている。

また、徒歩での小学校への通学距離はどの程度までが望ましいと思うか（問12）を、望ましいと思う小学生の通学方法別（問11）にみると、いずれの通学方法を望ましいと思う場合でも、「現状のまま（概ね4km以内）」が最も高く、8割以上となっている（図表12）。

【図表12 徒歩での小学校への通学距離はどの程度までが望ましいと思うか(問12)

／望ましいと思う小学生の通学方法別】



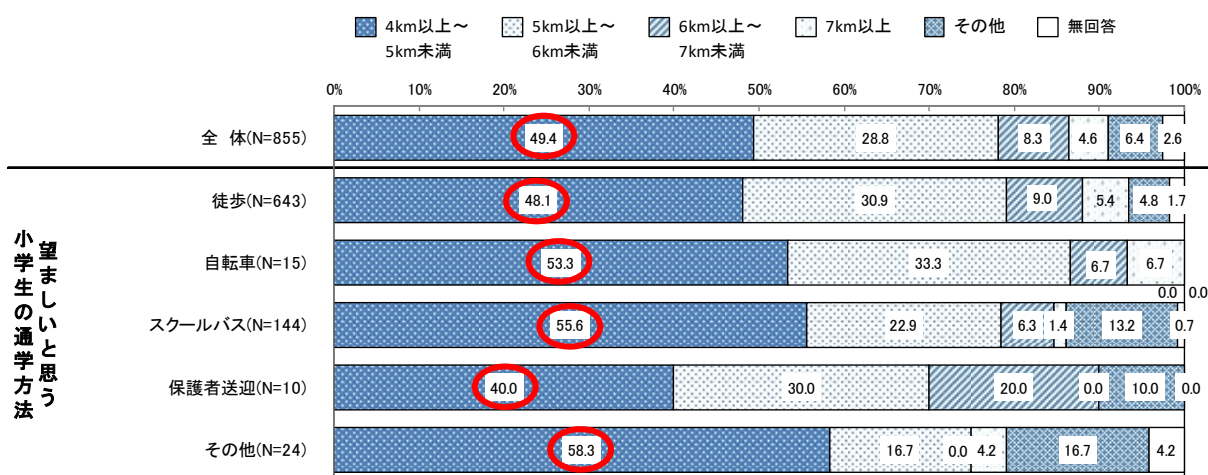
望ましいと思う小学生の通学方法

○ 最も高い項目

次に、小学校のスクールバスはどれくらいの通学距離からの利用が好ましいと思うか（問 13）を、望ましいと思う小学生の通学方法別（問 11）にみると、いずれの通学方法を望ましいと思う場合でも、「4km 以上～5km 未満」が最も高く、次いで「5km 以上～6km 未満」と続いており、これらをあわせた『4km 以上～6km 未満』はすべての区分で7割以上を占めている（図表 13）

こうした結果から、学校再編によって、遠方から登校することとなる児童については、徒歩範囲を拡大し、徒歩による通学を促すよりも、スクールバス等の活用を検討していく必要があると考える。

**【図表 13 小学校のスクールバスはどれくらいの通学距離からの利用が好ましいと思うか(問 13)  
／望ましいと思う小学生の通学方法別】**

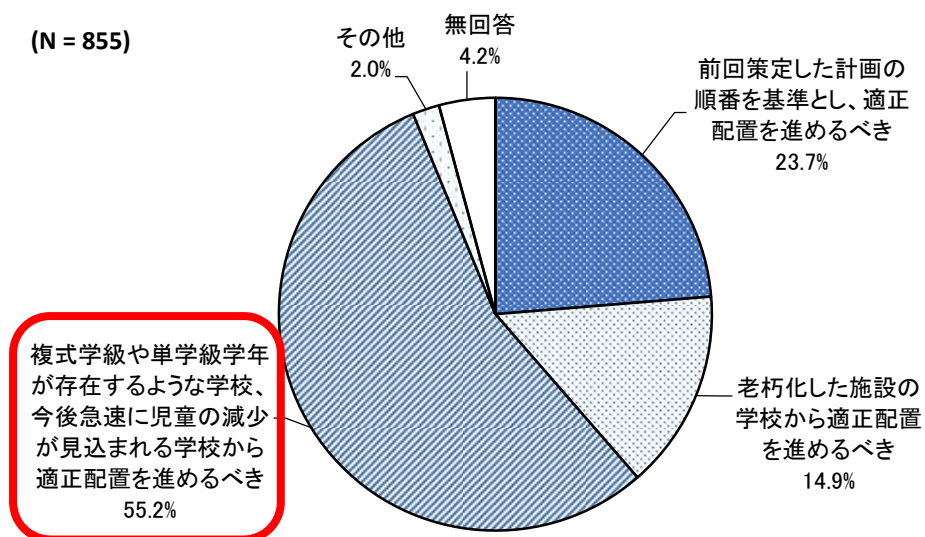


○ 最も高い項目

### 3-4 学校再編の順序について

玉名市の学区の再編について、学校再編を進める基準について尋ねたところ、「複式学級や単学級学年が存在するような学校、今後急速に児童の減少が見込まれる学校から適正配置を進めるべき」が 55.2% と過半数を占め、次いで「前回策定した計画の順番を基準とし、適正配置を進めるべき」が 23.7%、「老朽化した施設の学校から適正配置を進めるべき」が 14.9% となった（図表 14）。

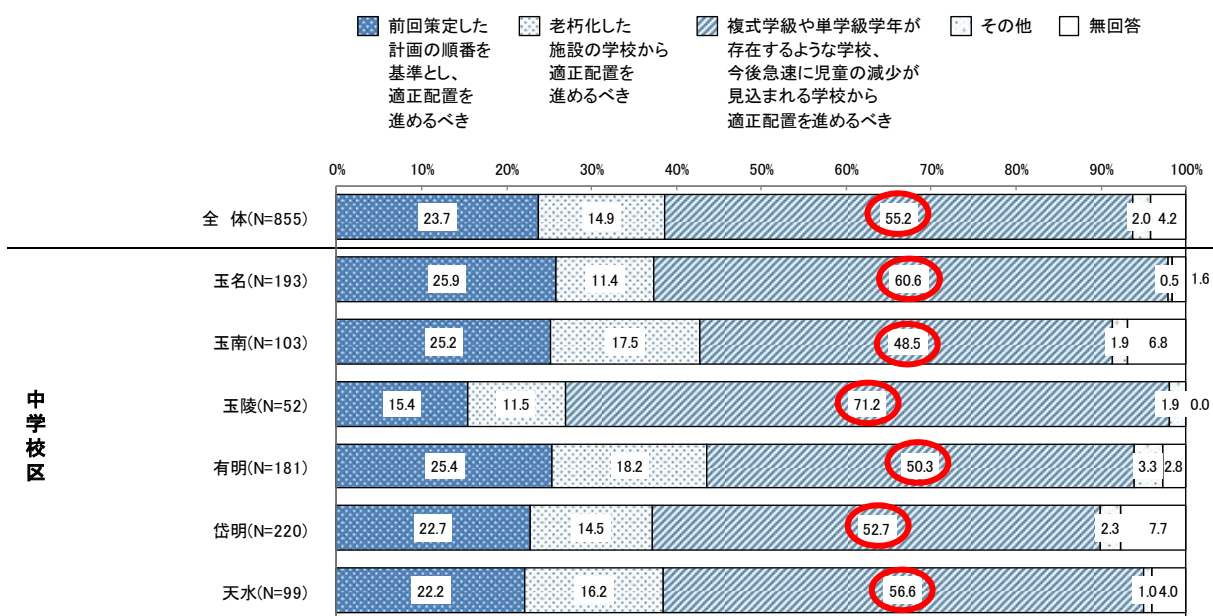
【図表 14 学校再編を進める基準(問 14)】



学校再編を進める基準を、中学校区別にみると、いずれの中中学校区においても、「複式学級や単学級学年が存在するような学校、今後急速に児童の減少が見込まれる学校から適正配置を進めるべき」が最も高く、玉南以外では過半数を占めている（図表 15）。

こうした結果から、学校再編の順序については、現状を踏まえ、児童数の少ない学校や今後急速に児童の減少が見込まれる学校を中心に、改めて見直す必要があると考える。

【図表 15 学校再編を進める基準(問 14)／中学校区別】



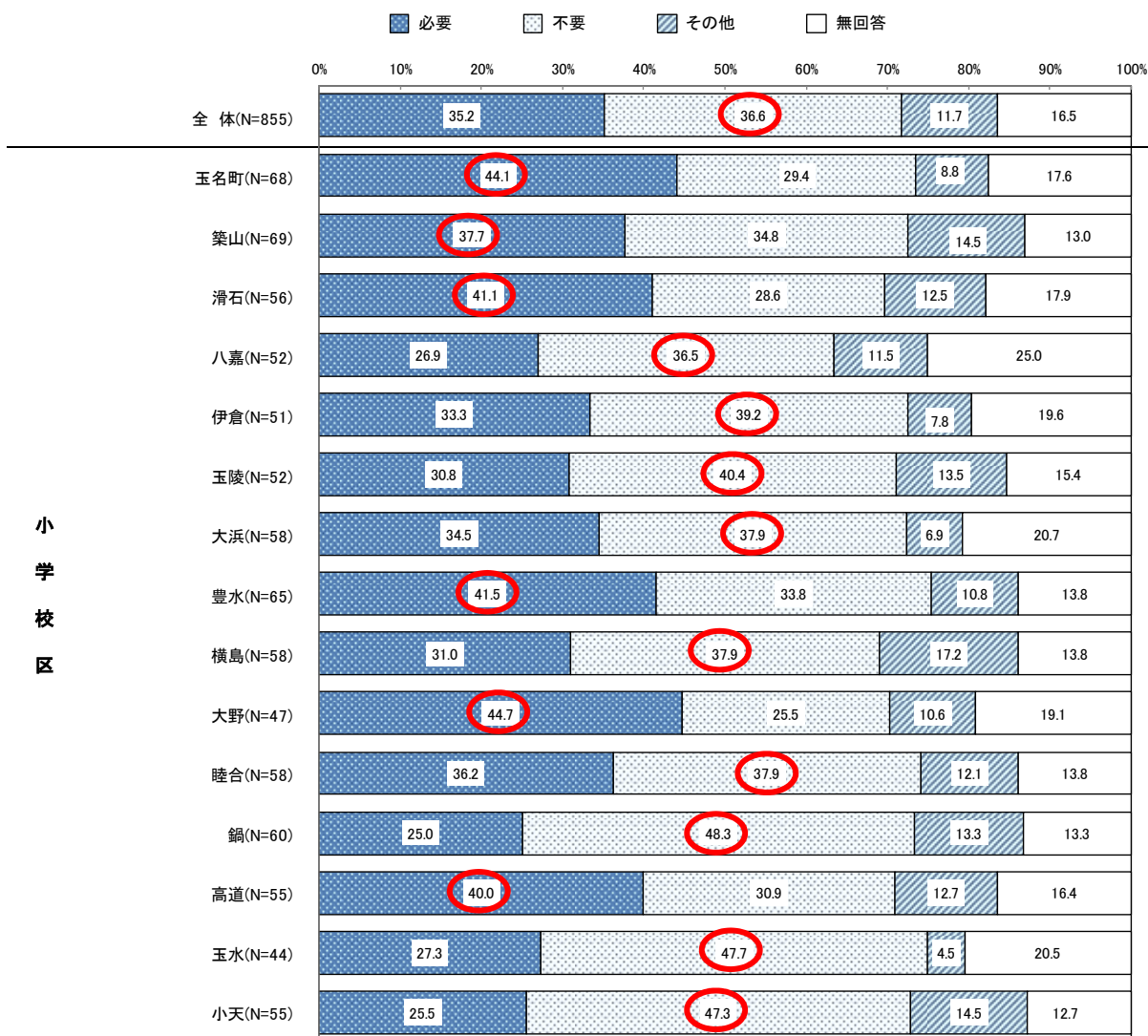
○ 最も高い項目



### 3-5 小学校再編に伴う中学校の通学区域見直しの必要性について

小学校再編にあたり、中学校の通学区域の見直しが必要と思うか（問 16）を、小学校区別にみると、玉名町、築山、滑石、豊水、大野、高道では「必要」が「不要」を上回っており、特に玉名町、大野では4割半ばを占めるなど、「必要」と考える人が多い小学校区も見受けられる（図表 16）。

【図表 16 中学校の通学区域の見直しが必要と思うか（問 16）／小学校区別】



○ 最も高い項目

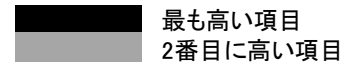
また、小学校の通学区域を見直す場合に配慮する必要があること（問 17）を、中学校の通学区域見直しについての要否別（問 16）にみると、いずれの場合も「通学路の安全確保」が最も高く、6～7 割台を占めており、次いで「通学の時間、距離」が 5～6 割台となっている（図表 17）。

「通学路の安全確保」及び「通学の時間、距離」については、中学校の通学区域の見直しが必要と思うかにかかわらず、過半数の人が配慮すべき事項として挙げており、これらの点は通学路の見直しを検討する際に欠かせない視点となっている。

【図表 17 小学校の通学区域見直しにおける配慮事項(問 17)／中学校通学区域見直しの要否別】

(上段:件数、下段:%)

		回答数	子どもの教育活動	通学の時間、距離	通学路の安全確保	子どもの人間関係	その他	無回答
全体		855	195 22.8	513 60.0	576 67.4	168 19.6	14 1.6	48 5.6
必 区 中 要 域 学 と の 校 思 見 の う 直 通 か し 学 が	必要	301	79 26.2	204 67.8	220 73.1	55 18.3	7 2.3	0 0.0
	不要	313	80 25.6	192 61.3	209 66.8	60 19.2	3 1.0	7 2.2
	その他	100	18 18.0	53 53.0	68 68.0	28 28.0	4 4.0	4 4.0


 最も高い項目  
 2番目に高い項目

## 第4章 調査票

### 小学校・中学校再編計画に関する市民アンケート調査 ご協力のお願い

平素から玉名市の教育行政にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

玉名市立小・中学校では少子化に伴う児童・生徒数の減少が顕著となり、学校の小規模化が進んでいます。教育水準の維持向上を図り、教育効果の上がる学級規模を確保するために、学校の規模・配置適正化を進めることが喫緊の課題となっています。

この課題に対し、本市では、平成24年10月に「玉名市学校規模・配置適正化基本計画」（平成24年度～令和3年度）を策定し、玉名市立小学校の再編を進め、現在小学校15校・中学校6校を配置し、地域の実情に応じた教育を行っています。この計画が令和3年度をもってその計画期間を終えることから、令和4年度以降の第2次計画の策定を予定しています。

この第2次計画の策定にあたり、市民の皆様の意識を把握することを目的として、無作為に抽出した玉名市民1,500名を対象としたアンケート調査を実施いたします。

本調査は、無記名で回答をお願いするとともに、回答はすべて統計処理を行いますので個人を特定されることはありません。また、回答内容を目的以外に使用することは一切ございません。

教育委員会では、「子どもたちによりよい教育環境を整備する」ことを第一に考えています。多くのご意見を計画に反映するため、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

玉名市教育委員会

#### 記入上のお願い

- ご回答は、宛名のご本人様をご記入ください。住所・氏名を記入する必要はありません。
- 各質問の回答は、該当する番号に ○印 をつけてください。「その他」に該当する場合は、( ) 内に内容をご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒にて **令和2年10月30日(金)** までにご投函ください。切手を貼る必要はありません。
- 調査や記入に関してご不明な点などがありましたら、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

#### 【お問い合わせ先】

玉名市教育委員会 教育総務課 担当：乗 富（のりとみ）、大 磯（おおいそ）

住所：〒865-8501 熊本県玉名市岩崎163

電話番号：0968-75-1133 ファックス番号：0968-75-1138

## 1. ご回答いただく方について

**問1** あなたの年齢をお答えください。【1つに○】

1 20代	2 30代	3 40代	4 50代以上
-------	-------	-------	---------

**問2** あなたの性別をお答えください。【1つに○】

1 男性	2 女性	3 答えたくない
------	------	----------

**問3** お住まいの小学校区をお答えください。【1つに○】

1 玉名町	2 築山	3 滑石	4 八嘉
5 伊倉	6 玉陵	7 大浜	8 豊水
9 横島	10 大野	11 睦合	12 鍋
13 高道	14 玉水	15 小天	16 わからない

**問4** 同居するご家族についてお答えください。【あてはまるものすべてに○】

1 未就学児がいる	2 小学生がいる	3 中学生がいる	4 1～3にはあてはまらない
-----------	----------	----------	----------------

## 2. 小学校の規模について

### ① 学級人数について

**問5** 小学校の児童数は、1学級に最低何人が必要だと思われますか。【1つに○】

1	1学級あたり10人以下	⇒ 問6にお進みください
2	1学級あたり11～20人	⇒ 問6にお進みください
3	1学級あたり21～30人	⇒ 問7にお進みください
4	1学級あたり31人以上	⇒ 問7にお進みください

**問6** 問5で1または2を選んだ方におたずねします。問5でお答えになった理由はなんですか。あてはまるものをお選びください。【○は2つまで】

1	丁寧な学習指導を期待するから
2	学力を伸ばせるから
3	個別の対応が十分とれるから
4	一人一人の活躍の場が保障されるから
5	その他 ( )

**問7** 問5で3または4を選んだ方におたずねします。問5でお答えになった理由はなんですか。あてはまるものをお選びください。【○は2つまで】

1	多くの児童と交流できるから
2	切磋琢磨し学力を伸ばせるから
3	社会性を身につけられるから
4	集団の中で色々経験できるから
5	その他 ( )

① 学級数について

**問 8** 小学校の学級数は、法令によると「1 学年あたり 2～3 学級（1 学校あたり 12～18 学級）を標準とする」となっています。1 学年あたりの学級数について、あなたはどの程度が望ましいと思われますか。【1 つに○】

1	1 学年あたり 1 学級	⇒問 9 にお進みください
2	1 学年あたり 2 学級	⇒問 10 にお進みください
3	1 学年あたり 3 学級以上	⇒問 10 にお進みください

**問 9** 問 8 で 1 を選んだ方におたずねします。問 8 でお答えになった理由はなんですか。あてはまるものをお選びください。【○は 3 つまで】

1	丁寧な指導ができるから
2	学力を伸ばせるから
3	個別の対応が十分とれるから
4	一人一人の活躍の場が保障され、リーダーシップが養われるから
5	クラスとしての一体感があるから
6	その他（ ）

**問 10** 問 8 で 2 または 3 を選んだ方におたずねします。問 8 でお答えになった理由はなんですか。あてはまるものをお選びください。【○は 2 つまで】

1	クラス替えにより多くの児童、教師と出会えるから
2	協調性を養えるから
3	友達が多くできるから
4	理科や音楽、外国語などの専科（専門）の先生の指導を受けることができるから
5	その他（ ）

### 3. 通学方法と通学距離について

通学の距離については、小学校で4 km以内、中学校で6 km以内又はそれ以下の距離を基準としています。玉名市内の小学生の通学方法については、徒歩やスクールバスの利用があります。スクールバスの利用により毎日の徒歩時間が減少し、体力の低下を懸念する声もあります。

※現在玉名市では、通学距離が4 km以上の児童又は学校の統合により、通学条件が変更となった児童がスクールバスを利用しています。

**問 11** 小学生の通学方法として、どのような方法が最も望ましいと思われますか。【1つに○】

1 徒歩	2 自転車	3 スクールバス	4 保護者送迎
5 その他 ( )			

**問 12** 玉名市内では、徒歩やスクールバスを利用して小学校へ登校しています。徒歩での通学距離はどの程度までが望ましいと思われますか。【1つに○】

1 現状のまま（概ね4 km 以内）
2 5 km 以内
3 10km 以内
4 距離は問わない

**問 13** 小学校のスクールバスは、どれくらいの通学距離からの利用が好ましいと思われますか。【1つに○】

1 4 km 以上～5 km未満
2 5 km 以上～6 km未満
3 6 km 以上～7 km未満
4 7 km 以上
5 その他 ( )

## 4. 学校の適正配置の決め方について

### 【学校規模適正化、適正配置について】

児童・生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、話し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小・中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましいと考えられています。

### 【適正化の計画】

玉名市においても平成24年10月に「玉名市学校規模・配置適正化基本計画」を策定し、玉名市立小学校の再編を進めてきたところです。令和2年度・3年度において計画の見直しを行い、第2次の計画を策定する予定です。

**問 14** 玉名市の児童・生徒数は減少しており、今後も減少する見込みとなっています。人口減少により複式学級が存在する学校や、クラス替えのできない学校もあり、今後も玉名市は学校の再編を進めていきます。学校再編にあたり、どのような基準で進めるべきだと思われるか。【1つに○】

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 前回策定した計画の順番を基準とし、適正配置を進めるべき                         |
| 2 | 老朽化した施設の学校から適正配置を進めるべき                              |
| 3 | 複式学級や単学級学年が存在するような学校、今後急速に児童の減少が見込まれる学校から適正配置を進めるべき |
| 4 | その他 ( )   |

※前回策定した計画では、

①玉陵中学校区 ⇒ ②天水中学校区 ⇒ ③玉南中学校区 ⇒ ④有明中学校区 の順となっています。

※複式学級とは、異なる学年の児童・生徒を1つに編制した学級のことです。

単学級学年とは、1学級の学年のことです。

**問 15** 学校再編を進めるうえで何を望まれますか。【○は2つまで】

- |   |                                 |
|---|---------------------------------|
| 1 | 適正な児童数・学級数の確保                   |
| 2 | 児童・生徒の通学とその安全（時間・距離・方法）         |
| 3 | 小学校・中学校9年間を見通した学びの推進（小中一貫教育の推進） |
| 4 | 校舎等の施設の充実                       |
| 5 | その他 ( )                         |



## 5. 中学校校区をまたぐ小学校再編について

**問 16** 現在の小学校再編は、玉名市内の中学校区の通学区内で行っています。学校再編にあたり、中学校の通学区域の見直しは必要だと思われませんか。【1つに○】  
また、その理由があればご記入ください。

<b>1</b> 必要 理由：
<b>2</b> 不要 理由：
<b>3</b> その他（ ）

**問 17** 小学校の通学区域を見直す場合、配慮する必要があることは何だと思いませんか。  
【○は2つまで】

<b>1</b> 子どもの教育活動
<b>2</b> 通学の時間、距離
<b>3</b> 通学路の安全確保
<b>4</b> 子どもの人間関係
<b>5</b> その他（ ）

アンケートはこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。



---

玉名市学校規模配置適正化  
基本計画策定に伴う市民アンケート調査  
調査結果報告書

令和3年2月  
〒865-8501 熊本県玉名市岩崎163  
玉名市教育委員会  
電話:0968-75-1133

---